

【第2次ちば文化振興計画】令和2年度実施報告及び令和3年度実施予定

※参考: 対象とする文化芸術の範囲(第2次ちば文化振興計画より引用)

- ・芸術 ……文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊その他の芸術(メディア芸術を除く)
- ・メディア芸術 ……映画、漫画、アニメーション、コンピューターその他の電子機器等を利用した芸術
- ・伝統芸能 ……雅楽、能楽、文学、歌舞伎その他の我が国古来の伝統的な芸能
- ・芸能 ……講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱その他の芸能(伝統芸能を除く)
- ・生活文化 ……茶道、華道、書道その他の生活に係る文化
- ・国民娯楽 ……囲碁、将棋その他の国民的娯楽
- ・出版物等 ……出版物及びレコード等
- ・文化財等 ……有形及び無形の文化財並びにその保存技術
- ・郷土芸能 ……地域固有の伝統芸能及び民俗芸能

施策の柱1 文化芸術を鑑賞・参加・創造する環境づくり ～あらゆる人々が文化芸術を享受するために～

① 県民の自主的な文化芸術活動の促進

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額(千円)	実施結果に対する評価(成果等)	特殊事項(台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	実施計画	当初予算額(千円)		前年度からの変更点(令和2年度実施結果を受けての対策等)
1	千葉・県民芸術祭	県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	<p>①【千葉・県民芸術祭県域文化団体行事】 県域で活動する文化芸術団体による絵画や詩、俳句、川柳、写真などの分野を中心とした公募展や合唱、吹奏楽、演劇などの公演等を共催した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や実施方法の見直しを行った行事があった。 事業数: 全件15事業、期間: 8月4日～11月29日、会場: 県立美術館・各市文化会館など(全県)、来場者(合計): 一般県民等(13,730名)</p> <p>②【千葉・県民芸術祭中央行事】 複数の文化芸術分野の文化団体等と連携して新たな文化芸術の発表の場を設ける予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。</p>	4,600	感染対策の徹底や実施方法を誌上大会に変更する等の工夫により一部の事業は実施することができ、「県民の自主的な文化芸術活動の促進」に寄与した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした事業が全体の半数程度を占める状況となり、中央行事も中止とした。	<p>【千葉・県民芸術祭県域文化団体行事】 事業数: 28件、期間: 7月～12月、会場: 県立美術館など全県で実施</p> <p>【千葉・県民芸術祭中央行事】 日程: 10月3日(日)、会場: 千葉県文化会館、出演者・団体: 県域で活動する文化芸術団体、県内高等学校等(9団体)</p>	5,320	新型コロナウイルス対策として、スケジュールや実施内容の見直しを行う。一方、可能な限り広報活動の充実に取り組むとともに、「中央行事」は若い世代の来場を促すことができるよう、企画内容充実を図る。	環境生活部 県民生活・文化課
2	県立文化会館自主事業、管理運営事業	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	<p>・管理・運営方法: 公益財団法人や株式会社による指定管理</p> <p>・会館利用者数(4館合計): 138,902名</p> <p>・利用事業数(4館合計): 2,109件</p> <p>・各館の特色を生かして、質の高い公演事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な事業を実施した。</p>	658,512	県民の自主的な文化芸術活動の促進や、様々な場における文化芸術にふれ親しむ機会の提供に寄与した。	新型コロナウイルス感染症により多くのイベントが中止となった。	<p>・管理・運営方法: 公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理</p> <p>・各館の特色を生かして、質の高い公演事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な事業を実施</p>	629,400		環境生活部 県民生活・文化課
3	ちば文化交流ボックス	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	<p>「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載したほか、新型コロナウイルス関連情報集約ページの作成を行った。</p> <p>・地域のイベント情報掲載数: 3件 ・累計閲覧者数: 649,000人</p>	-	文化イベントや文化資源などの情報に加え、新型コロナウイルス関連情報など、ニーズにあった情報を提供した。		文化イベントや文化資源などに関する情報に加えて、新型コロナウイルス関連の情報を引き続き提供することで、ホームページの閲覧者数増加(700,000人)を目指す。	-		環境生活部 県民生活・文化課
4	さわやかちば県民プラザ事業	音楽ワークショップ、東葛飾文化祭、ザ・ワールドオブプラス、クリスマスコンサート、高校生バンドフェスティバル、書のパフォーマンス発表会、さわやかアゴラコンサートなどを実施する。	<p>県民の自主的な文化活動の促進及び文化活動の機会の提供に向けて主に7講座を企画し、次の4講座を実施した。</p> <p>①音楽ワークショップ 柏の葉吹奏楽団を結成し、吹奏楽の練習の場と発表機会の提供。9日実施(人数を半分に分けて実施)。また中止6日。</p> <p>②高校生バンドフェスティバル 県内高校生の軽音楽発表機会の提供。1次審査(音源)を実施後、フェスティバルを2日に分け、一般の参観はなしとして実施。</p> <p>③書のパフォーマンス発表会 高校書道部による実行委員会が企画・運営する場の提供。実行委員会2日(中止3日)、イベント1日(一般の参観はなし)。</p> <p>④アゴラマンズリーコンサート 所の利用者等によるコンサート。2日。中止6日。</p>	402	参加者自らが創り上げる文化活動を支援するとともに、文化活動が多くの県民に触れる場となるよう広報も工夫した。	事業概要に掲載して、実施結果にない講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。また、実施結果にある中止等は、新型コロナウイルス感染症拡大防止によるものであった。	音楽ワークショップ、ザ・ワールドオブプラス、クリスマスコンサート、高校生バンドフェスティバル、書のパフォーマンス発表会、さわやかアゴラコンサートなどを実施する。(事業概要中、3講座削除、1講座追加)	423	新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、実施の可否を引き続き検討しながら進めていく。	教育庁 生涯学習課

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度		担当部署名		
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画		当初予 算額 (千円)	前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
5	県立美術館・博物館事業	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	<p>①【ちば文化発信事業特別展】 美術館において「日本文化の華 大相撲展」を開催。 (期間:1月16日～3月21日、場所:美術館、臨時休館につき入場者:0名)</p> <p>②【企画展・特別展】 ・県立博物館各館が千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示。 ・中央博物館「ちばの縄文 貝塚から探る縄文人の暮らし」(10,564名) ・中央博物館大根分館「ちばらき」(中止) ・中央博物館大多喜城分館「福を呼ぶ小袖と房総の万祝」(12,118名) ・現代産業科学館「プラネタリウム上映会」(中止)・「カ・ラ・ク・る 歯車が伝える動き」(中止) ・関宿城博物館「関東のへそ～地勢と暮らしの歴史～」(17,086名) ・房総のむら「千葉のまつり」(3,871名)</p> <p>③【チバミュージアムフェスタ2020】 県立博物館・美術館が連携し、オリンピック・パラリンピックと千葉県のスポーツ史の関連を紹介する展示。 中央博物館(19,212名)、中央博物館大根分館(547名)、中央博物館大多喜城分館(2,924名)、中央博物館分館海の博物館(2,607名)、美術館(2,245名)、現代産業科学館(臨時休館につき0名)、関宿城博物館(臨時休館につき0名)</p>	27,807	展示及び広報活動により千葉県の魅力の発信に寄与した。 チバミュージアムフェスタ2020ではオリンピック・パラリンピックの機運醸成に寄与した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、各館で以下の期間を臨時休館 ・4月1日～5月25日:美術館、中央博物館、房総のむら ・4月1日～6月1日:大根分館、大多喜城分館、分館海の博物館、現代産業科学館、関宿城博物館 ・1月9日～3月22日:中央博物館、大根分館、大多喜城分館、分館海の博物館、現代産業科学館、関宿城博物館、房総のむら ・1月13日～3月22日:美術館	<p>①【ちば文化発信事業特別展】 美術館において「漆黒のモダン 漆芸家 佐治賢使展」を開催。 期間:10月30日～令和4年1月16日、場所:美術館</p> <p>②【企画展】 県立博物館各館が千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示。中央博物館「バラのすべて-All about Roses-」(10月9日～11月28日)、中央博物館大根分館「ちばらき」(5月29日～6月27日)、中央博物館大多喜城分館「兜とカブト」(10月22日～12月5日)、現代産業科学館「プラネタリウム上映会」(中止決定)・「カ・ラ・ク・る-歯車が伝える動き-」(10月16日～12月5日)、関宿城博物館「関宿関所は川関所!」(10月1日～11月28日)、房総のむら「千葉の民俗芸能」(10月2日～11月23日)</p> <p>③【チバミュージアムフェスタ2020】 県立博物館・美術館が連携し、オリンピック・パラリンピックと千葉県のスポーツ史の関連を紹介する展示。</p>	49,332	新型コロナウイルス感染症予防に状況によって開催期間・内容等を変更する。	教育庁 文化財課
6	県立美術館 展覧会事業	千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開、及び県内美術団体の展覧会、移動美術館の開催する。	<p>①【ちば文化発信事業特別展】 美術館において「日本文化の華 大相撲展」を開催。 (期間:1月16日～3月21日、場所:美術館、臨時休館につき入場者:0名)</p> <p>②【千葉からはばたく新世代アート展】 千葉県ゆかりの新進芸術家「100%ORNGE オレンジ・ジュース」の作品を紹介予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止(令和3年度に延期) (当初予定期間:6月9日～7月12日、場所:美術館)</p> <p>③【アート・コレクション展】 テーマごとに県立美術館の所蔵作品を紹介。 (事業数:全10件、場所:美術館、期間:4月1日～3月31日、入場者数:32,254名)</p> <p>④【移動美術館】 県民に質の高い芸術鑑賞の機会を提供するため、県内の文化施設等を会場に、県立美術館収蔵作品を展示。 (期間:9月29日～10月11日、場所:成田市文化芸術センター、入場者:739名)</p>	20,442	移動美術館や新進芸術家を含む千葉県ゆかりの作家を紹介することにより、幅広い世代が芸術文化にふれ親しむ機会を提供することができた。	臨時休館(1月13日～3月22日)	<p>①【ちば文化発信事業特別展】 美術館において「漆黒のモダン 漆芸家 佐治賢使展」を開催。 (期間:10月30日～1月16日、場所:美術館)</p> <p>②【千葉からはばたく新世代アート展】 千葉県ゆかりの新進芸術家「100%ORNGE オレンジ・ジュース」の作品を紹介。 (期間:7月13日～9月20日、場所:美術館)</p> <p>③【アート・コレクション展】 テーマごとに県立美術館の所蔵作品、県内の新進芸術家の作品を紹介。 (事業数:全10件、場所:美術館、期間:4月1日～3月31日)</p> <p>④【移動美術館】 県民に質の高い芸術鑑賞の機会を提供するため、県内の文化施設等を会場に、県立美術館収蔵作品を展示。 (期間:9月～10月、場所:茂原市立美術館・郷土資料館)</p>	17,124	新型コロナウイルス感染症予防に状況によって開催期間等を変更する。	教育庁 文化財課

② 様々な場における文化芸術にふれ親しむ機会の提供

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
7	県立文化会館自主事業、管理運営事業(2番 再掲)	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法:公益財団法人や株式会社による指定管理 ・会館利用者数(4館合計):138,902名 ・利用事業数(4館合計):2,109件 ・各館の特色を生かして、質の高い公演事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な事業を実施した。	658,512	県民の自主的な文化芸術活動の促進や、様々な場における文化芸術にふれ親しむ機会の提供に寄与した。	新型コロナウイルス感染症により多くのイベントが中止となった。	・管理・運営方法:公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・各館の特色を生かして、質の高い公演事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な事業を実施	629,400		環境生活部 県民生活・文化課
8	県立美術館・博物館事業(5番 再掲)	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	①【ちば文化発信事業特別展】 美術館において「日本文化の華 大相撲展」を開催。 (期間:1月16日～3月21日、場所:美術館、臨時休館につき入場者:0名) ②【企画展・特別展】 ・県立博物館各館が千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示。 ・中央博物館「ちばの縄文 貝塚から探る縄文人の暮らし」(10,564名) ・中央博物館大根分館「ちばらき」(中止) ・中央博物館大多喜城分館「福を呼ぶ小袖と房総の万祝」(12,118名) ・現代産業科学館「プラネタリウム上映会」(中止)・「カ・ラ・ク・る 歯車が伝える動き」(中止) ・関宿城博物館「関東のへそ～地勢と暮らしの歴史～」(17,086名) ・房総のむら「千葉のまつり」(3,871名) ③【チバミュージアムフェスタ2020】 県立博物館・美術館が連携し、オリンピック・パラリンピックと千葉県のスポーツ史の関連を紹介する展示。 中央博物館(19,212名)、中央博物館大根分館(547名)、中央博物館大多喜城分館(2,924名)、中央博物館分館海の博物館(2,607名)、美術館(2,245名)、現代産業科学館(臨時休館につき0名)、関宿城博物館(臨時休館につき0名)	27,807	展示及び広報活動により千葉県の魅力の発信に寄与した。 チバミュージアムフェスタ2020ではオリンピック・パラリンピックの機運醸成に寄与した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、各館で以下の期間を臨時休館 ・4月1日～5月25日:美術館、中央博物館、房総のむら ・4月1日～6月1日:大根分館、大多喜城分館、分館海の博物館、現代産業科学館、関宿城博物館 ・1月9日～3月22日:中央博物館、大根分館、大多喜城分館、分館海の博物館、現代産業科学館、関宿城博物館、房総のむら ・1月13日～3月22日:美術館	①【ちば文化発信事業特別展】 美術館において「漆黒のモダン 漆芸家 佐治賢展」を開催。 期間:10月30日～令和4年1月16日、場所:美術館 ②【企画展】 県立博物館各館が千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示。中央博物館「バラのすべて-All about Roses-」(10月9日～11月28日)、中央博物館大根分館「ちばらき」(5月29日～6月27日)、中央博物館大多喜城分館「兜とカブト」(10月22日～12月5日)、現代産業科学館「プラネタリウム上映会」(中止決定)・「カ・ラ・ク・る-歯車が伝える動き-」(10月16日～12月5日)、関宿城博物館「関宿関所は川関所!」(10月1日～11月28日)、房総のむら「千葉の民俗芸能」(10月2日～11月23日) ③【チバミュージアムフェスタ2020】 県立博物館・美術館が連携し、オリンピック・パラリンピックと千葉県のスポーツ史の関連を紹介する展示。	49,332	新型コロナウイルス感染症予防に状況によって開催期間・内容等を変更する。	教育庁 文化財課
9	県立美術館展覧会事業(6番 再掲)	千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開、及び県内美術団体の展覧会、移動美術館の開催する。	①【ちば文化発信事業特別展】 美術館において「日本文化の華 大相撲展」を開催。 (期間:1月16日～3月21日、場所:美術館、臨時休館につき入場者:0名) ②【千葉からはばたく新世代アート展】 千葉県ゆかりの新進芸術家「100%ORNGE オレンジ・ジュース」の作品を紹介予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止(令和3年度に延期) (当初予定期間:6月9日～7月12日、場所:美術館) ③【アート・コレクション展】 テーマごとに県立美術館の所蔵作品を紹介。 (事業数:全10件、場所:美術館、期間:4月1日～3月31日、入場者数:32,254名) ④【移動美術館】 県民に質の高い芸術鑑賞の機会を提供するため、県内の文化施設等を会場に、県立美術館収蔵作品を展示。 (期間:9月29日～10月11日、場所:成田市文化芸術センター、入場者:739名)	20,442	移動美術館や新進芸術家を含む千葉県ゆかりの作家を紹介することにより、幅広い世代が芸術文化にふれ親しむ機会を提供することができた。	臨時休館(1月13日～3月22日)	①【ちば文化発信事業特別展】 美術館において「漆黒のモダン 漆芸家 佐治賢展」を開催。 (期間:10月30日～1月16日、場所:美術館) ②【千葉からはばたく新世代アート展】 千葉県ゆかりの新進芸術家「100%ORNGE オレンジ・ジュース」の作品を紹介。 (期間:7月13日～9月20日、場所:美術館) ③【アート・コレクション展】 テーマごとに県立美術館の所蔵作品、県内の新進芸術家の作品を紹介。 (事業数:全10件、場所:美術館、期間:4月1日～3月31日) ④【移動美術館】 県民に質の高い芸術鑑賞の機会を提供するため、県内の文化施設等を会場に、県立美術館収蔵作品を展示。 (期間:9月～10月、場所:茂原市立美術館・郷土資料館)	17,124	新型コロナウイルス感染症予防に状況によって開催期間等を変更する。	教育庁 文化財課
10	県民芸術劇場	県民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供するため、千葉交響楽団の公演を県内各地で行う。	・時期:通年 ・公演数:10公演(中止公演は含めていない) ・会場:県内の文化ホール等10	6,612	県民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供した。	新型コロナウイルスの影響により、合計23公演が中止となった。	・時期:通年 ・公演数:30公演(予定) (管弦楽8公演、室内管弦楽2公演、室内楽12公演、芸術鑑賞教室8公演) ・会場:県内各地 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、5月末時点で1件延期、5件中止となっている。	23,325		環境生活部 県民生活・文化課
11	千葉交響楽団による活動等	千葉県のプロ・オーケストラである千葉交響楽団に対し、運営費の一部を補助することにより、県民に親しまれるオーケストラとして定着させるとともに、本県の音楽文化の振興に資する。	・主催公演:3公演(定期演奏会2回、特別演奏会1回) ・依頼演奏会:10公演 ・アウトリーチ活動:3公演	23,612	子どもたちの文化芸術活動の充実や、高齢者・障害のある人等の文化芸術活動の充実に寄与した。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、公演の中止や延期、一公演あたりの収容客数の減少が生じた。	・主催公演:4公演(定期演奏会2回、特別演奏会2回)予定 ・依頼演奏会、アウトリーチ活動を予定 ※県は運営費を補助	23,188		環境生活部 県民生活・文化課

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
12	ちば文化交 流ボックス(3 番 再掲)	県ホームページに「ち ば文化交流ボックス」 を設け、ちばの文化情 報を紹介するととも に、県主催事業の他、 県内各地で行われる 文化イベントや県内の 文化資源などの情報 を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームペー ジに掲載したほか、新型コロナウイルス関連情報集約ページの作成を 行った。 ・地域のイベント情報掲載数:3件 ・累計閲覧者数:649,000人	-	文化イベントや文化 資源などの情報に 加え、新型コロナウ イルス関連情報な ど、ニーズにあった 情報を提供した。		文化イベントや文化資源などに関する情報に加えて、新型 コロナウイルス関連の情報を引き続き提供することで、 ホームページの閲覧者数増加(700,000人)を目指す。	-		環境生活部 県民生活・ 文化課
13	文化事業	歴史講演会、古文書 講座・県史講座、出前 講座、常設展、企画展 等を文書館で開催す る。	・歴史講演会「幕末維新の改元と房総」7月22日開催 参加者 24名 ・古文書講座 11月4日～11月27日(3コース、各3日間) 延べ参加人数 233名 ・出前講座 令和2年8月18日～令和3年3月3日 35回実施 ・県史講座 中止 ・企画展「千葉県と疫病ーくり返す脅威ー」(令和2年10月1日～令和3年1 月7日) 入場者 1,913名 ・ミニ企画展 ①「千葉を照らす電気のあかりー電気事業ことはじめー」 7月1日～9月15日 入場者 232名 ②「房総へやってきた武士たちー鳥飼家文書に見る海防と奈良輪村ー」3 月23日～3月31日 ・常設展「史料から見るふるさと房総の歴史と文化」3月23日～3月31日 入場者(上記ミニ企画展②と合わせて) 110名	1,251	講演会・講座、展示 の開催に当たって は、その都度、県民 の関心事に配慮し ながら魅力あるテー マを選定した結果、 多くの参加者を得ら れ文書館の利用拡 大に寄与した。	・歴史講演会 新 型コロナウイルス 感染拡大防止の ため、受講者の人 数を120名から30 名に縮小した。 古文書講座 新型 コロナウイルス感 染拡大防止のた め、受講者数を各 コース120名のと ころ、30名に縮小 した。 ・県史講座 緊急 事態宣言により休 館のため、中止と なる。 ・企画展 1月7日 に緊急事態宣言 が出され、翌日か ら休館し、中止と なる。	・歴史講演会「ふさの国の彫物大工・波の伊八、その実像 を探る」7月9日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の ため中止 ・古文書講座 11月4日～11月24日(3コース、各3日間) ・出前講座 令和3年6月10日～令和4年2月1日 (全38回) ・県史講座「私の街に電気が来た日ー千葉県の電気事業 ー」(仮) 2月(日にち未定) ・ミニ企画展 ①「房総へやってきた武士たちー鳥飼家文書に見る海防と 奈良輪村ー」4月1日～6月29日 ②「渋沢栄一の書簡ー大蔵卿松方正義宛での招待状ー」 7月1日～9月15日 ・企画展「房総の廃藩置県」(仮) 令和3年10月1日～令和4年2月26日 ・常設展「史料から見るふるさと房総の歴史と文化」 ①4月1日～9月15日②令和4年3月14日～3月30日	1,755		文書館
14	千葉県上下 流交流事業 水源地紹介	県内のイベントにて、 八ッ場ダムの水源地で ある群馬県長野原町 の紹介及び郷土芸能 (上州應桑関所太鼓) の披露をして、千葉県 民の水源地に対する 理解と交流を深める。	新型コロナウイルスの影響により、例年参加している「四街道市産業まつ り」が中止となり、県内における同様のイベントについても開催の目処が 立たないことから、令和2年度は中止とした。	0	中止のため、特にな し	新型コロナウイルス 感染拡大防止 のため中止した。	県内行事に参加し、水源地である長野原町の紹介を行う。	0		総合企画部 水政課
15	全日本中学 生水の作文 コンクール	「水の日」の趣旨にふ さわしい事業の一環と して次代を担う中学生 を対象に「水について 考える」をメインテー マに作文コンクールを行 う。	県内各地から180編の応募があり、最優秀賞1編、優秀賞3編、奨励賞2 編、学校賞3校を選定した。 (主催者:水循環政策本部・国土交通省・千葉県) 1. 作品募集 募集テーマ:「水について考える」、募集対象者:県内在住・在学の中学 生、募集期間:3月2日～5月8日、応募数:180編 2. 表彰式 新型コロナウイルスの影響により中止。入賞者へは副賞、その他参加者 へは参加賞を送付した。	68	千葉県地方審査会 での学校の取り組 みへの評価となる 学校賞数が増加し、 「県民の自主的な文 化芸術活動の促 進」に寄与した。	新型コロナウイルス 感染拡大防止 のため、入賞者へ の表彰式を中止し た。	「全日本中学生水の作文コンクール」の実施 ・募集期間:3月1日～5月9日 ・募集対象者:県内在住・在学の中学生	150		総合企画部 水政課

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
16	千葉県男女 共同参画 フェスティバル	本県の男女共同参画社会づくりに向けた機運を高めるため、「千葉県男女共同参画フェスティバル」では、県の男女共同参画の推進拠点として、講演や県内で男女共同参画の推進に向けて活躍する民間団体による体験講座を実施し、県民が楽しみながら男女共同参画への理解を深められるよう、民間団体と交流を行う。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	0	新型コロナウイルス流行下でも、開催できるよう、開催方法等について検討する必要がある。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	「千葉県男女共同参画フェスティバル」の開催 ・日時:未定 ・場所:未定 ・内容等:コロナにより検討中	1,267	感染症対策を踏まえ、オンライン開催を主軸に検討。	総合企画部 男女共同参画課
17	千葉県歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール	県内公立小中学校及び特別支援学校・学級の児童・生徒を対象に、歯・口の健康に関するポスターを募集し、表彰することによって、口腔保健に関する正しい知識を普及啓発し、県民の健康の保持増進に寄与する。	新型コロナウイルス感染症による感染拡大防止のため中止となった。	0			以下のとおり作品を募集をする ・テーマ:歯・口の健康に関するポスター ・対象:県内公立小中学校及び特別支援学校・学級の児童・生徒	295	なし	健康福祉部 健康づくり支援課
18	心の輪を広げる障害者理解促進事業	障害者に対する国民の理解の促進を図るため、国民を対象に「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を公募する。	1. 作品募集 ・対象:【作文】小学生・中学生・高校生・一般(4区分) 【ポスター】小学生・中学生(2区分) ・募集期間:7月1日～9月4日・応募数:【作文】17作品、【ポスター】23作品 2. 表彰 ・各区分ごとに、最優秀賞1名、優秀賞1名、社会福祉法人千葉県身体障害者福祉協会理事長賞1名以内をそれぞれ表彰 ※例年11月に実施している表彰式は中止 ・最優秀賞作品は内閣府へ推薦	0	作品を通じて、共生社会の普及啓発を行った。	例年11月に実施している表彰式は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	1. 作品募集 ・対象:【作文】小学生・中学生・高校生・一般(4区分) 【ポスター】小学生・中学生(2区分) ・募集期間:7月1日～9月3日 2. 表彰 ・各区分ごとに、最優秀賞1名、優秀賞1名、社会福祉法人千葉県身体障害者福祉協会理事長賞1名以内をそれぞれ表彰 ・表彰式:11月予定 ・最優秀賞作品は内閣府へ推薦	0	特になし	健康福祉部 障害者福祉推進課
19	薬物乱用防止啓発ポスター募集	薬物乱用防止啓発に用いるポスターの募集を行う。	隔年開催のため未実施	0	評価無		ポスター募集については休止し、別の方法を検討中	56		健康福祉部 薬務課
20	若年層対策献血啓発事業	中高生から献血啓発ポスターの募集を行う。	目的:若年層の献血の意識付け テーマ:献血啓発ポスター 対象:県内中学校・高等学校に在学中の生徒 応募数:中学生238点、高校生34点	185	応募作品数が減少した。これは新型コロナウイルス感染症により学校の夏休み期間が通常と異なったことも影響した要因の一つであると推察される。	新型コロナウイルス感染症による影響により献血感謝のつどいにおける表彰式を中止した。	募集期間:7月1日～9月2日 対象:県内中学校・高等学校に在学中の生徒 表彰式:10月21日、千葉県献血感謝のつどいで表彰予定 知事賞・部長賞についてはポスター・リーフレット等で使用	330		健康福祉部 薬務課
21	愛鳥週間事業(千葉県愛鳥週間ポスターコンクール)	鳥獣保護思想の奨励・普及啓発を図るため、ポスターコンクールを実施する。	【千葉県愛鳥週間ポスターコンクール】 1. 作品募集 ・応募作品数:約850点・対象:県内の小・中・高等学校等 2. 審査・展示等 審査会(7月)、表彰式(8月)、入賞作品の展示(9月～)	773	児童・生徒の絵の展示により、文化芸術に触れる機会を創出した。	新型コロナウイルス感染症により、表彰式の中止。	【千葉県愛鳥週間ポスターコンクール】 1. 作品募集 ・募集時期:4月初旬・対象:県内の小・中・高等学校等 2. 審査・展示等 審査会(7月)で入選作品58点を選定。 県内各地で入選作品を展示する予定。	1,193	特になし	環境生活部 自然保護課

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
22	千葉県環境 月間ポス ター作品募 集	環境保全に関するポ スター作品を募集し、 入賞作品を表彰し公 表するとともに、啓発 資料等に活用する。	1. 作品募集 ・募集期間:令和元年4月～10月31日 ・応募作品:992点 2. 審査会 ・日程:令和元年12月25日 ・入賞:82点 ・審査員:学識経験者等 3. 展示 ・県庁での展示:令和2年6月17日～6月30日 4. 表彰式は中止	203	環境保全意識の普 及と啓発が図られ た。	表彰式は中止	1. 作品募集 ・募集期間:令和2年4月～10月29日 ・応募作品:936点 2. 審査会 ・日程:令和3年1月18日 ・入賞:82点 ・審査員:学識経 験者等 3. 展示 ・外部での展示:令和3年6月5日～6月13日 ・県庁での展示:令和3年6月15日～6月21日 4. 表彰式は中止 5. 次年度作品募集 ・募集期間:令和3年4月～10月28日	323		環境生活部 循環型社会 推進課
23	国産花きイノ ベーション推 進事業 (令和元年 度～ 次世代国産 花き確立推 進事業)	県産花植木を活用した 生け花や日本庭園の 展示、植木伝統樹芸 実演会の開催などに より、生産技術の向上 と県産花植木の魅力 の発信を図る。	①県産花きを使った生け花展示 (1月19日～25日・そごう千葉店、2 月10日～16日・イオンモール成田) ②県産植木を使った伝統的な日本庭園の展示(2月10日～23日、イオン モール成田)	12,474	メインとなる客層の 異なる2店舗での展 示を通して、幅広い 世代に生け花や日 本庭園の伝統と魅 力を発信することが できた。	【植木伝統樹芸士 の実演及び実演し た植木の展示】新 型コロナウイルス 感染症拡大防止 のため中止とし た。	①県産花きを使った生け花文化展示 ②県産植木を使った日本庭園の展示 ③植木伝統樹芸実演会の開催	15,364		農林水産部 生産振興課
24	千葉県建築 文化賞	安全で快適な建築空 間の創出や環境負荷 低減などに優れた建 築物の普及啓発のた め、千葉県建築文化 賞を開催し、優良建 築物の表彰を行う。ホ ームページ、ポスター、 パンフレット等により作 品の募集を行い、その 表彰結果を紹介する など、建築文化や居住 環境に対する県民の 意識の高揚を図る。	1. 作品募集 募集部門:一般建築物の部、住宅の部、募集期間:8月3日～9月30日 作品応募数:59作品 2. 審査結果 最優秀賞1点、優秀賞5点、入賞3点、計9点を表彰した。	1,124	ホームページ、ポス ター、パンフレット等 により作品の募集を 行い、その表彰結 果を紹介するなど、 建築文化や居住環 境に対する県民の 意識の高揚を図る。	①新型コロナウイ ルス感染症によ り、当該事業の実 施是非に関する 協議等を行って いたため、例年よ りも募集期間が短 縮した。 ②新型コロナウイ ルス感染症によ り、例年3月に行 われている表彰式 を中止した。	賞を年1回実施 (募集期間:7月1日～9月30日、表彰式:3月下旬)	1,427	作品パネル展示箇 所の増加やチラシ やポスターの配付 先を拡大した。	県土整備部 建築指導課
25	さわやかち ば県民プラ ザ事業 (4番 再掲)	音楽ワークショップ、東 葛飾文化祭、ザ・ワー ルドオブプラス、クリ スマスコンサート、高 校生バンドフェスティ バル、書のパフォー マンス発表会、さわ やかアゴラコンサ ートなどを実施する。	県民の自主的な文化活動の促進及び文化活動の機会の提供に向けて主 に7講座を企画し、次の4講座を実施した。 ①音楽ワークショップ 柏の葉吹奏楽団を結成し、吹奏楽の練習の場と発表機会の提供。9日実 施(人数を半分分けて実施)。また中止6日。 ②高校生バンドフェスティバル 県内高校生の軽音楽発表機会の提供。1次審査(音源)を実施後、フェ スティバルを2日に分け、一般の参観はなしとして実施。 ③書のパフォーマンス発表会 高校書道部による実行委員会が企画・運営する場の提供。実行委員会2 日(中止3日)、イベント1日(一般の参観はなし)。 ④アゴラマンズリーコンサート 所の利用者等によるコンサート。2日。中止6日。	402	参加者自らが創り 上げる文化活動を 支援するとともに、 文化活動が多 くの県民に触れる場とな るよう広報も工夫し た。	事業概要に掲載し ていて、実施結果 にはない講座につ いては、新型コロナ ウイルス感染症拡 大防止のため中 止とした。 また、実施結果に ある中止等は、新 型コロナウイルス 感染症拡大防止 によるものであ った。	音楽ワークショップ、ザ・ワールドオブプラス、クリスマス コンサート、高校生バンドフェスティバル、書のパフォー マンス発表会、さわやかアゴラコンサートなどを実施する。 (事業概要中、3講座削除、1講座追加)	423	新型コロナウイ ルス感染症対策を踏 まえ、実施の可否 を引き続き検討しな がら進めていく。	教育庁 生涯学習課

No.	事業名	事業概要	令和2年度				令和3年度			担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)	前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)	
26	県立図書館 事業	①県民への情報提供、図書の貸出・返却及び資料管理を的確かつ迅速に行うため、電算処理による図書館情報システムを導入し、円滑な運用を図る。 ②県民の読書や調査研究活動の支援と市町村立図書館等への協力・援助のために、書籍の収集整備をする。 ③子どもへの本の読み聞かせや読書の重要性について一層の理解を深めてもらうため、読み聞かせのボランティア活動を行う方などを対象に、子どもの本の読み聞かせについての講座を開催するほか、特別支援学校を訪問して読み聞かせを実施する。 ④県民が身近な市町村立図書館等を通じて県立図書館及び他の市町村立図書館の資料が利用できるよう、県内公共図書館間に情報と物流のネットワークを構築して運用している。また、高等学校・特別支援学校には、資料搬送車や宅配便による資料の貸出しを行っている。	①図書館情報システムの運用 電算処理によるシステム(平成29年11月更新)を活用し、個人や図書館等への貸出、蔵書管理、所蔵資料情報の公開等を継続して行い、円滑に運用している。 ②書籍の収集整備 市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に10,834冊を購入整備した。 ③-1 読み聞かせボランティア入門講座 ・期間:9月30日 ・回数:1回 ・場所:館山市 ・参加者(合計):一般県民等(23名) ③-2 特別支援学校訪問読書支援 ・期間:通年 ・回数:9校 ・場所:各特別支援学校 ・参加者(合計):特別支援学校教職員・児童・生徒等(1,152名) ④図書館ネットワークの構築・運用 県内図書館や県立学校等へ図書館ネットワークを通じて167千冊の貸出しを行った。	132,021	整備した蔵書で、県民に対する直接貸出だけでなく、県内図書館等への貸出により広く県民へ資料を提供することができた。 地域の子どもや特別支援学校児童生徒の読書環境向上に寄与することができた。		①図書館情報システムの運用(予算65,776千円) ②書籍の収集整備 市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に収集整備。(予算52,000千円) ③読み聞かせボランティア入門講座/特別支援学校訪問読書支援 (予算234千円) ④図書館ネットワークの構築・運用(予算19,446千円)	137,456		教育庁 生涯学習課
27	ちばアクアラインマラソン 開催事業	スポーツを通じ千葉が有する様々な魅力を発信するために東京湾アクアラインを活用した事業でランナーへのおもてなし等に文化芸術を活用する。	未実施	0		新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されている状況を勘案し、令和2年3月27日(金)に開催された、実行委員会総会において「ちばアクアラインマラソン2020」大会開催の中止が決定された。	次回大会の開催時期未定のため、現時点では実施計画なし	0		教育庁 体育課
28	水道週間ポスター・標語 コンクール	県民の皆様の水道へのご理解をより深めていただくために、「水の大切さ」や「くらしを支える水道水」などを呼びかける「ポスター」及び「標語」作品を募集・審査・表彰し、作品集にまとめている。	・作品募集結果 対象:県内に在住、県内学校に通学している方 テーマ:「水の大切さ」「くらしを支える水道水」 応募総数:ポスターの部438点、標語の部1,217点	405	学校や公民館等に作品募集のお知らせを送付し、ポスターや標語の制作を通して文化芸術にふれ親しむ機会の提供をした。	表彰式及び作品展示は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	・作品募集 対象:県内に在住、県内学校に通学している方 テーマ:「水の大切さ」「くらしを支える水道水」 応募総数:ポスターの部342点、標語の部1,675点 ・作品展示等 状況を見て実施	1,773	表彰については、受賞者の学校等に職員が伺い個別に行うことで、人を集めず実施する。作品展示については、より広い会場を用意することにより、人の密集を避けながら作品をご覧いただく。	企業局管理 部 総務企画課

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
29	ギャラリー 「二つ返事」	循環器病センター内の ギャラリーに芸術品 (絵画・書道・押し花・ 陶芸・写真等)を展示 する。	【ギャラリー「二つ返事」】 循環器病センター内のギャラリーに芸術品(絵画・書道・押し花・陶芸・写真等)を展示する。 ・事業数:全13件 ・期間:4月1日～3月31日 ・場所:2階多目的ホール前ギャラリー展示スペース ・関係者:文化芸術団体(全13団体) ・展示内容:絵画・書道・押し花・陶芸・写真等 ・来場者:患者	0	全13団体中3団体の展示を1ヶ月単位で行った。	全13団体中8団体から新型コロナウイルス拡大の懸念から展示の中止の申し出があった。	【ギャラリー「二つ返事」】 循環器病センター内のギャラリーに芸術品(絵画・書道・押し花・陶芸・写真等)を展示する。 ・事業数:全11件 ・期間:7月16日～3月31日 ・場所:2階多目的ホール前ギャラリー展示スペース ・関係者:文化芸術団体(全11団体) ・展示内容:絵画・書道・押し花・陶芸・写真等 ・来場者:患者	0	新型コロナウイルス拡大と緊急非常事態宣言のため、令和3年度の展示募集が例年より遅くなり7月からの展示となった。また、1ヶ月単位ではなく半月単位の展示となる。	病院局 循環器病センター
30	県警音楽隊 派遣	要請により、小・中学校、その他各種イベント会場に音楽隊を派遣し、演奏を通じた警察広報を行う。	派遣日数:24日 派遣回数:25回 (令和2年1月～令和2年12月) 派遣場所:県内小学校等 聴衆人員:10,217人	0	新型コロナウイルスの感染拡大により、派遣日数・回数は減少したものの、警察広報を通じ県民が文化芸術に親しむ機会を可能な限り提供できた。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、85回中止となった。	派遣予定日数:47日 派遣予定回数:48回 (令和3年1月～令和3年12月) ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、すでに21回中止となっている。(令和3年6月30日現在)	0		警察本部
31	県警音楽隊 金曜コンサ ート	4月から10月(7～8月を除く。)までの間の金曜日に、千葉市内で演奏を行う。	開催なし	0	新型コロナウイルスの感染拡大防止のためやむをえず中止した。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、全8回すべて中止となった。	開催未定	0		警察本部
32	県警音楽隊 定期演奏会	演奏を通じて県民とのふれあいを深め、警察活動に対する県民の理解と協力を得るために、演奏会を行う。	日程:11月21日(土)午前・午後2回実施 場所:千葉県文化会館 聴衆人員:1,152人(午前581人、午後571人)	947	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催規模は縮小したものの、警察広報を通じ幅広い層の県民が文化芸術に親しむ機会を可能な限り提供できた。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、規模を縮小して実施した。(定員を半分、演奏時間1時間に縮小)	日程:11月20日(土)午前・午後2回実施予定 場所:千葉県文化会館	862		警察本部
33	千葉県議会 議場演奏	県民文化の向上発展に資するため、議場内において演奏を行う。	実施なし	-			実施予定なし ※当行事は4年に1回程度の頻度で実施を検討している。	0		議会事務局

③ 子どもたちの文化芸術活動の充実

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
34	若者の文化芸術活動育成支援事業	若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。	「若者の文化芸術活動育成支援事業補助金」申請内容を審査し、補助金を交付した。 ・補助対象事業の実施期間:6月1日～2月28日 ・補助対象:40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費:2/3以内(上限20万円) ・補助金交付団体数:【申請数】6団体7事業/【交付数】4団体5事業	1,000	4団体5事業が実施され、県民に様々な分野の文化芸術に触れる機会を提供し、また、文化芸術の発表の機会を設けることにより、文化振興に寄与した。	新型コロナウイルス感染症の影響で、1団体が内定辞退、1団体が事業中止となった。	「若者の文化芸術活動育成支援事業補助金」申請内容を審査し、補助金を交付する。 ・補助対象事業の実施期間:6月1日～2月28日 ・補助対象:40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費:2/3以内(上限20万円) ・補助金交付団体数:【申請数】7団体7事業/【交付決定数】6団体6事業	1,200	通常通り、1団体1事業を採択した。	環境生活部 県民生活・文化課
35	学校音楽鑑賞教室	次代の文化を担う児童・生徒を対象として、質の高い演奏に触れる機会を提供するため、千葉交響楽団による巡回公演を実施する。	・時期:通年 ・公演数:20公演 ・巡回先:県立高等学校1校、県内公立小・中学校19校	5,880	次代の文化を担う児童・生徒に質の高い演奏に触れる機会を提供した。	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、公演の中止や延期が生じた。	・時期:通年 ・公演数:50公演(予定) ・巡回先:県立高等学校1校、県内公立小・中・特別支援学校49校	17,088		環境生活部 県民生活・文化課
36	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業	小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	・内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期:通年 ・派遣先:県内小中学校18校 (洋楽:4校/伝統芸能(能楽5校・雅楽6校・三曲3校):14校)	2,744	例年より体験を縮小し鑑賞や説明の時間を増やすなど、新型コロナウイルス感染防止を踏まえた内容で実施した。	新型コロナウイルスの影響で9校分中止となった。(洋楽:1校/伝統芸能(能楽3校・雅楽2校・三曲3校):8校)	・内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期:通年 ・派遣先:県内小中学校27校 (洋楽:5校/伝統芸能(能楽8校・雅楽8校・三曲6校):22校)	4,040	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止を踏まえた内容で実施する。	環境生活部 県民生活・文化課
37	千葉県青少年オーケストラ育成事業	(公財)千葉県文化振興財団の行う青少年オーケストラ育成事業に対し補助することにより、次代を担う青少年の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図る。	・指導者を招聘し、定期的に練習を行った。 ・平成30年度に開催した東京公演の動画配信を実施した。 ・8月にアキラさんの大発見コンサート(千葉県文化会館)、11月に文化の子カラで千葉を元気に!夢のコラボコンサート(千葉県文化会館)、3月に第25回定期演奏会(千葉県文化会館)を開催した。	44,734	次代を担う青少年の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図った。	3月の定期演奏会は、新型コロナウイルスの影響により、出演者を変更して実施した。	・指導者を招聘し、定期的に練習を実施。 ・8月にアキラさんの大発見コンサート(千葉県文化会館、千葉県東総文化会館)、3月に定期演奏会(千葉県文化会館)を開催予定。	36,734		環境生活部 県民生活・文化課
38	子どもの読書活動の推進	「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」に基づき、乳幼児期からの読書活動を推進し、子どもが自主的に読書に親しむことができる環境の整備を進めていく。主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指し、リーフレットの作成・配付や「子ども読書の集い」の開催などの啓発活動を行う。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。	「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」に基づいた取組 ①子どもの読書活動啓発リーフレットの作成・配付 ・作成部数:乳幼児向け47,765部、小学生向け48,235部 ・0歳児及び小学校1年生の保護者に配布 ②「子どもの読書活動推進計画(第四次)」冊子の作成・配付 ・作成部数:100部 ・県内教育関係施設、県内市町村教育委員会等に配布 ※千葉県子ども読書の集い開催【中止】 ※学校図書館・公立図書館連携研修会【中止】 ※全国高等学校ビブリオバトル千葉県大会【中止】	822	「子どもの読書活動啓発リーフレット」及び「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)計画の冊子」を作成配付することにより、「読書県『ちば』としての機運を高めていくため、学校等における読書活動の推進に寄与した。	「千葉県子ども読書の集い」、「学校図書館・公立図書館連携研修会」、「全国高等学校ビブリオバトル千葉県大会」を中止した。	「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」に基づき、乳幼児期からの読書活動を推進し、子どもが自主的に読書に親しむことができる環境の整備を進めていく。主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指し、リーフレットの作成・配付や「子ども読書の集い」の開催などの啓発活動を行う。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。	1,019	新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じながら「令和3年度千葉県子ども読書の集い」及び「令和3年度学校図書館・公立図書館連携研修会」を実施する。また、「全国高等学校ビブリオバトル千葉県大会」は、他課事業に移行する。	教育庁 生涯学習課
39	高等学校文化連盟補助	国や県の教育施策等に基づき、高校生の文化活動の向上・発展及び普及振興を図るため、千葉県高等学校文化連盟に補助金を交付する。	①千葉県高等学校文化連盟への補助金交付 ②行事・研修会等の共催	4,500	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定されていた行事のうち中止になったものもあったが、代替行事を含め実施された行事の共催を行うことで、高等学校の文化部活動の充実につながった。	全国高等学校総合文化祭はWeb開催となった。	千葉県高等学校文化連盟に補助金を交付する等、高校生の文化活動の支援を行う。	4,500	なし	教育庁 学習指導課

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	実施計画	当初予算額 (千円)		前年度からの変更点 (令和2年度実施結果を受けての対策等)
40	ちば文化発信プロジェクト事業	千葉県の文化に対する県民の関心を高めるため、特別展を開催し、小中学生等保入生の保護者へ無料入場券の配付を行う。	特別展:美術館において「日本文化の華 大相撲展」を開催。 (期間:1月16日～3月21日、場所:美術館、臨時休館につき入場者:0名) 無料入場券:令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、県立博物館・美術館が6月まで休館になったこと、並びに再開後も事業計画を大きく変更し、利用制限等も設けて運営していることから、中止	17,436	県民への文化芸術に触れる機会の提供には至らなかった。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、各館で以下の期間を臨時休館 ・4月1日～5月25日:美術館、中央博物館、房総のむら ・4月1日～6月1日:大利根分館、大多喜城分館、分館海の博物館、現代産業科学館、関宿城博物館 ・1月9日～3月22日:中央博物館、大利根分館、大多喜城分館、分館海の博物館、現代産業科学館、関宿城博物館、房総のむら ・1月13日～3月22日:美術館	企画展:美術館において「漆黒のモダン 漆芸家 佐治賢 使展」を開催。 (期間:10月30日～1月16日、場所:美術館) 無料入場券:小中学生等新入生の保護者へ無料入場券の配付を行う。	9,815	新型コロナウイルス感染症予防に状況によって開催期間等を変更する。	教育庁 文化財課
41	「授業に役立つ県立博物館」プロジェクト	県立博物館が保有する研究成果を活用した学習キットを製作し、学校に貸出し等を行い、授業を支援する。	学習キットの貸出による学習支援を行った。 ・貸出先:県内学校等76件 ・学習キットの種類:美術館5種類、中央博物館4種類、中央博物館大利根分館1種類、中央博物館大多喜城分館1種類、現代産業科学館3種類、関宿城博物館4種類、房総のむら2種類	214	学校教育における博物館・美術館による学習支援の要望に応えた。	感染症対策として貸出し停止期間あり	引き続き前年度と同程度の学習セットを運用。	375		教育庁 文化財課
42	出土文化財管理活用事業	発掘調査で出土した実物資料等を用い、出張展示・出前授業・体験学習指導等を実施するとともに出土品を利用した学習キットを作成し、小学校への配付を拡充する事業。	出土文化財を活用した出前授業・体験学習等を実施した。(40件:小学校12件1,022人/中学校1件22人/公民館等17件445人/貸出し:10件(うち通年3件)) 作成した学習キットを必要な学校に配布し、学習キットのメンテナンスをおこなった。	2,660	緊急事態宣言の発令や新型コロナウイルス感染症拡大による体験等事業の自粛のため、実施回数は大きく減少した。	出張等事業要望数そのものの減少	出張展示・出前授業・体験学習指導・体験学習貸出しを併せて120回 学習キット:特別支援学校12校に配布するほか、既配布のメンテナンス、新規作成のための準備作業	4,217	動画コンテンツの作成・公開等、新しい生活様式に即した実施方策の検討	教育庁 文化財課
43	県警音楽隊派遣(30番 再掲)	要請により、小・中学校、その他各種イベント会場に音楽隊を派遣し、演奏を通じた警察広報を行う。	派遣日数:24日 派遣回数:25回 (令和2年1月～令和2年12月) 派遣場所:県内小学校等 聴衆人員:10,217人	0	新型コロナウイルスの感染拡大により、派遣日数・回数は減少したものの、警察広報を通じ県民が文化芸術に親しむ機会を可能な限り提供できた。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、85回中止となった。	派遣予定日数:47日 派遣予定回数:48回 (令和3年1月～令和3年12月) ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、すでに21回中止となっている。(令和3年6月30日現在)	0		警察本部

④ 高齢者・障害者等の文化芸術活動の充実

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
44	文化プログラム関連イベント事業「千葉・県民音楽祭」	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○千葉・県民音楽祭一般公募による参加者とプロオーケストラ「千葉交響楽団」が共演する一般参加型コンサートを実施する。	「千葉・県民音楽祭」の開催 → 東京2020大会の延期及び新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により中止した。 【当初予定】 ・出演者: 千葉交響楽団・楽器演奏者・県内障害者団体・合唱団体・ダンス団体 ・日程: 6月21日 ・会場: 千葉県文化会館	0 中止	東京2020大会の延期及び新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により公演中止となった。	「千葉・県民音楽祭」の開催 ・出演者: 千葉交響楽団・楽器演奏者・県内障害者団体・合唱団体・ダンス団体 ・日程: 6月20日 ・会場: 千葉県文化会館	0 (繰越 16,029千 円)	新型コロナウイルス感染症の感染対策に留意した内容とする(出演者数、観覧者数、ステージ内容、オンライン配信等)	環境生活部 県民生活・ 文化課	
45	特別支援学校巡回コンサート	プロのオーケストラによる質の高い優れた演奏を、コンサート会場に出向くことが困難な特別支援学校の児童・生徒に広く提供するため、千葉交響楽団による巡回公演を実施する。	・時期: 通年 ・巡回先: 県内特別支援学校4校(中止公演は含めていない)	3,020	特別支援学校4校での公演を開催し、コンサート会場に行くのが困難な児童・生徒に優れた音楽鑑賞の機会を提供した。	新型コロナウイルスの影響により、14校での公演が中止となった。	・時期: 通年 ・公演数: 18公演 ・巡回先: 県内特別支援学校(令和2年度の実施校と異なる学校)	13,590	支払いについて、新型コロナウイルスの影響により契約後の中止が想定されるため、千葉交響楽団からの希望を踏まえ、実施の翌月払いとした。	環境生活部 県民生活・ 文化課
46	千葉・県民芸術祭(1番 再掲)	県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	①【千葉・県民芸術祭県域文化団体行事】 県域で活動する文化芸術団体による絵画や詩、俳句、川柳、写真などの分野を中心とした公募展や合唱、吹奏楽、演劇などの公演等を共催した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や実施方法の見直しを行った行事があった。 事業数: 全件15事業、期間: 8月4日～11月29日、会場: 県立美術館・各市文化会館など(全県)、来場者(合計): 一般県民等(13,730名) ②【千葉・県民芸術祭中央行事】 複数の文化芸術分野の文化団体等と連携して新たな文化芸術の発表の場を設ける予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	4,600	感染対策の徹底や実施方法を誌上大会に変更する等の工夫により一部の事業は実施することができ、「県民の自主的な文化芸術活動の促進」に寄与した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした事業が全体の半数程度を占める状況となり、中央行事も中止とした。	【千葉・県民芸術祭県域文化団体行事】 事業数: 28件、期間: 7月～12月、会場: 県立美術館など全県で実施 【千葉・県民芸術祭中央行事】 日程: 10月3日(日)、会場: 千葉県文化会館、出演者・団体: 県域で活動する文化芸術団体、県内高等学校等(9団体)	5,320	新型コロナウイルス対策として、スケジュールや実施内容の見直しを行う。一方、可能な限り広報活動の充実に取り組むとともに、「中央行事」は若い世代の来場を促すことができるよう、企画内容充実を図る。	環境生活部 県民生活・ 文化課
47	千葉県生涯大学校管理運営事業	県内5学園の運営を通して、高齢者の社会活動を支援するための学習機会を提供するとともに、生きがい・健康・仲間づくりに資する。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、休校	261,182		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、休校	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、休校	163,082		健康福祉部 高齢者福祉課
48	千葉県福祉ふれあいプラザ管理運営事業	「介護実習センター」、「介護予防トレーニングセンター」、「ふれあいホール」の運営を通して、高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の機会を提供する。	「ふれあいホール」の運営 高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の提供 ・令和2年度年間利用者数: 31,617名	92,200	高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の提供した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、休館や時間短縮を行ったため、利用者数は減少した。	「ふれあいホール」の運営 高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の提供	93,000		健康福祉部 高齢者福祉課
49	さわやか芸能発表会	知的障害児・者とその家族、福祉関係者等が一同に会し、知的障害児・者が日頃取り組んでいる文化活動の発表を通じて交流を深めるとともに、県民の理解と声援を得る。	中止	0 中止	コロナの影響により中止	概要: 知的障害者の文化活動の発表 ・日程: 12月 ・場所: 千葉県文化会館	156		健康福祉部 障害福祉事業課	

No.	事業名	事業概要	令和2年度				令和3年度			担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)	前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)	
50	千葉県身体 障害者作品 展示会	県内の身体障害者が 自らの趣味やリハビリ 活動の中でその技術 を活かして制作した作 品を公開展示して、障 害者の積極的な自己 表現の場を提供し、自 立への大きな活力とす るとともに、県民の障 害者への理解を広め る。	作品展の開催 ・日程:10月20日～25日 ・場所:千葉県立美術館	239	・応募数:93名173 点 ・表彰等:優秀作品 11名に知事賞等各 賞授与		作品展の開催 ・日程:10月19日～24日 ・場所:千葉県立美術館	239		健康福祉部 障害者福祉 推進課
51	手をつなぐ 作品展事業	肢体不自由児に対す る愛護思想の普及を 図るため、県内の小 中・特別支援学校に障 害に関する作文・絵画 を募集し、優秀作品を 表彰する。また、併せ て優秀作品を県庁に 展示し、作品集を作成 し、関係機関に配布す る。	作品展の開催 ・作品募集:9月20日～11月10日まで ・審査会(入賞者決定):12月11日 入賞作品集を作成し、県内小中・高・特別支援学校、関係機関に配布し た。また、千葉県肢体不自由児協会のホームページや機関誌にて、入賞 者及び作品を公開した。	230	・応募数:作文36点 ・表彰等:優秀作品 の作文10点を選 定、各学校長より表 彰した。	第68回「手をつな ぐ作品展表彰式」 の開催を令和3年 2月28日に予定し ていたが、新型コ ロナウイルス感染 予防を留意し、中 止となった。	・作品募集:8月2日～11月1日まで ・審査会(入賞者決定):12月上旬 ・表彰式:2月下旬	230		健康福祉部 障害者福祉 推進課
52	障害者芸術 文化活動普 及支援事業	「千葉県障害者文化 芸術活動推進計画」に基 づき、「障害者芸術文 化活動支援センター (支援センター)」を中 心に、障害のある人や 障害福祉サービス事 業所等の文化芸術活 動を支援することを通 じて、障害のある人の 自立と社会参加の促 進を図る。	【支援センター】 ・事業期間:令和2年4月1日～令和3年3月31日 ・実施事業:県民相談、障害当事者や支援者向けの人材育成研修(新型 コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンラインで実施) ・展覧会等:新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止 【計画の策定】 ・計画策定:令和3年3月 ・期 間:令和3年から令和8年まで	7,315	新型コロナウイルス 感染症拡大防止の 観点から、人材研修 等をオンラインで実 施するなど、障害の ある人の文化芸術 活動を継続して支 援した。	新型コロナウイルス 感染症の影響 で、人が集まるイ ベント等が実施で きなかった。	・審査会(入賞者決定):12月	7,028		健康福祉部 障害者福祉 推進課
53	ギャラリー 「二つ返事」 (29番 再 掲)	循環器病センター内の ギャラリーに芸術品 (絵画・書道・押し花・ 陶芸・写真等)を展示 する。	【ギャラリー「二つ返事」】 循環器病センター内のギャラリーに芸術品(絵画・書道・押し花・陶芸・写 真等)を展示する。 ・事業数:全13件 ・期間:4月1日～3月31日 ・場所:2階多目的ホール前ギャラリー展示スペース ・関係者:文化芸術団体(全13団体) ・展示内容:絵画・書道・押し花・陶芸・写真等 ・来場者:患者	0	全13団体中3団体 の展示を1ヶ月単位 で行った。	全13団体中8団体 から新型コロナウ イルス拡大の懸念 から展示の中止 の申し出があっ た。	【ギャラリー「二つ返事」】 循環器病センター内のギャラリーに芸術品(絵画・書道・押 し花・陶芸・写真等)を展示する。 ・事業数:全11件 ・期間:7月16日～3月31日 ・場所:2階多目的ホール前ギャラリー展示スペース ・関係者:文化芸術団体(全11団体) ・展示内容:絵画・書道・押し花・陶芸・写真等 ・来場者:患者	0	新型コロナウイルス 拡大と緊急非常 事態宣言のため、 令和3年度の展示 募集が例年より遅 くなり7月からの展 示となった。また、 1ヶ月単位ではなく 半月単位の展示と なる。	病院局 循環器病セ ンター

施策の柱2 地域文化の保存・継承・活用による地域づくり ～あらゆる地域で地域文化が息づくために～

⑤ 伝統文化にふれる機会の提供

No.	事業名	事業概要	令和2年度				令和3年度			担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	実施計画	当初予算額 (千円)	前年度からの変更点 (令和2年度実施結果を受けての対策等)	
54	伝統的工芸品産業振興事業	県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧の作成やホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)「国指定伝統的工芸品房州うちわ」及び千葉工匠具の振興計画実施のための費用を助成 (5)全国・関東規模の伝統的工芸品展等への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施	・千葉県伝統的工芸品の新規指定数:3品 ・千葉県伝統的工芸品一覧作成(1万部印刷し市町村や物産館等に配付) ・国指定伝統的工芸品(房州うちわ)の振興計画実施費用を助成 ・オンラインで開催された全国及び関東規模の伝統的工芸品展に、房州うちわ及び千葉工匠具が参加 ・伝統的工芸品の販売促進事業の実施(チバテレビの情報番組内で3月1日～3月4日に千葉県指定伝統的工芸品を5品紹介)	4,312	新型コロナウイルスの影響により、会場での販売促進事業を実施することは出来なかったが、オンラインや情報番組を通じて、千葉の文化芸術を広く周知する機会を設けることができた。	・新型コロナウイルス感染症の影響で会場での展示販売会の開催が中止となった。	県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧の作成やホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉工匠具の振興計画実施のための費用を助成 (5)全国・関東規模の伝統的工芸品展等への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施	5,764		商工労働部 観光企画課
55	食のおもてなし力向上事業	2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、国内外からの観光客のさらなる増加が見込まれる中、食に関する魅力ある観光地づくりとおもてなし力の向上を図るため、本県ならではの食の魅力として「郷土料理」に着目し、観光客が本県の誇る郷土料理を知り、味わえる環境づくりを進める。	オリパラ関連事業のためオリパラ延期に伴い中止	0			郷土料理フェアの開催 ・期間:12月～1月(予定) ・内容:郷土料理を提供・販売する施設のPR	2,535	オリパラに合わせた事業実施を新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ断念。 しかしながら、本事業は郷土料理の魅力を広く発信し、観光コンテンツとして定着を図るものであるため、状況に合わせて内容の見直しを行った上で実施する(検討中)	農林水産部 流通販売課
56	ちばの食育活動促進事業	市町村、関係団体、ちば食育サポート企業、ちば食育ボランティア等との連携・協働による広報・啓発活動や体験活動による食育推進運動の展開を図る事業。ちば食育ボランティアには、郷土料理の伝承のための活動を行っている方々も含まれている。	①啓発リーフレットの作成・配付:8種類、237,000部 ②地域食育活動交換会の開催:10回 ③ちば食育ボランティア研修会:2回	1,983	リーフレットでの啓発や栄養教諭等を対象とした研修会などの開催により、千葉県農業の理解や地産地消等の認知が図られた。 また、各地域の学校や公民館等において、市町村・ちば食育ボランティア等が郷土料理や行事食を伝承する取組を行った。		①啓発リーフレットの作成・配付:9種類、154,000部 ②地域食育活動交換会の開催:10回 ③ちば食育ボランティア研修会:2回	6,218		農林水産部 安全農業推進課

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度		担当部署名		
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画		当初予 算額 (千円)	前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
57	水産物消費・食育対策事業	おさかな普及員の派遣、食育実習の情報提供及び魚食普及パンフレットの作成・配布を行い、魚食普及を通じて「食育」を推進する。	①要望のあった県内の高等学校の料理教室に、講師としておさかな普及員を派遣した。(派遣回数:7回) ②学校給食への県産水産物の提供に合わせて魚食普及パンフレットを配布した。	39	①アジを食材として用いて、千葉県産の郷土料理である「なめろう」や「さんが焼き」の伝承に努めた。 ②県内で水揚げされる魚の種類や旬などを知ってもらう資料を配布し、県内の水産業に対する理解増進を図った。	①新型コロナウイルス感染症の影響で、料理教室の実施を自粛する学校があった。 ②新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントの中止が相次ぎ、魚食普及パンフレットの配布機会が減少した。	①県内の小中高等学校等の料理教室に、講師としておさかな普及員を派遣する。(派遣回数:10回) ②魚食普及パンフレットを配布する。 ③栄養士を対象とした調理講習会へ、県産水産物を提供し、魚食普及を図る。	870	栄養士を対象とした調理講習会へ、県産水産物を提供し、魚食普及を図る。	農林水産部 水産課
58	房総の郷土芸能	県内の獅子舞や神楽等の民俗芸能の公開事業。	①「房総の郷土芸能2020」の開催 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い次年度へ延期した。 ③「かずさの国風あげフェスタ2020」の開催 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止した。	0	事業が実施できなかったため成果なし	新型コロナウイルス感染拡大により、集客を伴うイベントを実施することができないとともに、出演団体の練習等も実施できない状況であった。	①「房総の郷土芸能2021」の開催 ・日程:1月22日 ・会場:東総文化会館 ・出演者:香取・海匠・山武地域7団体 ②山梨県「関東ブロック民俗芸能大会」への団体派遣 ・日程:11月7日 ・会場:YCC県民文化ホール ・派遣団体:「大塚ばやし保存会」 ③「かずさの国風あげフェスタ2021」の開催 ・日程:5月4日	2,967	イベントが実施できない場合は映像を配信するなど代替措置を検討する。	教育庁 文化財課
59	房総のむら事業	古代から近代までの伝統的生活様式や技術を体験的に学ぶ博物館の指定管理委託事業。	指定管理者(千葉県教育振興財団)によって、伝統文化等の体験を中心とした事業を行い、68,224名の入場者を得た。	0	伝統文化への理解と関心を高めることに寄与した。	令和2年3月3日～5月25日及び令和3年1月9日～3月22日の間、臨時休館とした。	引き続き前年度と同程度の内容で実施(指定管理者実施事業)。	0	なし	教育庁 文化財課
60	郷土食体験事業	関宿城博物館において「鷹菜漬け」「そば打ち」などの体験事業を行う。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず。	9	コロナ禍が収束を見えない状況下では中止もやむを得なかった。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず。	博物館の郷土食講座として「鷹菜漬け」「そば打ち」「小麦まんじゅう」を体験を実施。 事業数:全4件、開催日:11月8日、12月6日、1月23・24日、2月20・21・27・28日	264	新型コロナウイルス感染症予防に状況によって参加者の安全確保のため開催時期等を変更する。	教育庁 文化財課

⑥ 伝統文化の保存・継承、担い手の育成

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
61	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業 (36番 再掲)	小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	・内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期:通年 ・派遣先:県内小中学校18校 (洋楽:4校/伝統芸能(能楽5校・雅楽6校・三曲3校):14校)	2,744	例年より体験を縮小し鑑賞や説明の時間を増やすなど、新型コロナウイルス感染防止を踏まえた内容で実施した。	新型コロナウイルスの影響で9校分中止となった。(洋楽:1校/伝統芸能(能楽3校・雅楽2校・三曲3校):8校)	・内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期:通年 ・派遣先:県内小中学校27校 (洋楽:5校/伝統芸能(能楽8校・雅楽8校・三曲6校):22校)	4,040	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止を踏まえた内容で実施する。	環境生活部 県民生活・文化課
62	伝統的工芸品産業振興事業 (54番 再掲)	県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。(1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧の作成やホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)「国指定伝統的工芸品房州うちわ」及び千葉県工匠の振興計画実施のための費用を助成 (5)全国・関東規模の伝統的工芸品展等への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施	・千葉県伝統的工芸品の新規指定数:3品 ・千葉県伝統的工芸品一覧作成(1万部印刷し市町村や物産館等に配付) ・国指定伝統的工芸品(房州うちわ)の振興計画実施費用を助成 ・オンラインで開催された全国及び関東規模の伝統的工芸品展に、房州うちわ及び千葉工匠が参加 ・伝統的工芸品の販売促進事業の実施(チバテレビの情報番組内で3月1日～3月4日に千葉県指定伝統的工芸品を5品紹介)	4,312	新型コロナウイルスの影響により、会場での販売促進事業を実施することは出来なかったが、オンラインや情報番組を通じて、千葉の文化芸術を広く周知する機会を設けることができた。	・新型コロナウイルス感染症の影響で会場での展示販売会の開催が中止となった。	県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧の作成やホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉工匠の振興計画実施のための費用を助成 (5)全国・関東規模の伝統的工芸品展等への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施	5,764		商工労働部 観光企画課
63	「ちばの花植木産地」パワーアップ事業	植木伝統樹芸士・銘木100選の選定や花植木の消費拡大・販売促進などを行う。	①「千葉県植木伝統樹芸士」の認定:1名(累計63名) ②「植木銘木100選」の認定:6本(累計104本)	273	伝統的な優れた造形技術の継承・保存に寄与するとともに、植木の生産振興及び県民への植木に対する理解増進につなげている。		①「千葉県植木伝統樹芸士」の認定 ②「植木銘木100選」の認定	4,299		農林水産部 生産振興課
64	房総の郷土芸能 (58番 再掲)	県内の獅子舞や神楽等の民俗芸能の公開事業。	①「房総の郷土芸能2020」の開催 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い次年度へ延期した。 ③「かずさの国風あげフェスタ2020」の開催 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止した。	0	事業が実施できなかったため成果なし	新型コロナウイルス感染拡大により、集客を伴うイベントを実施することができないとともに、出演団体の練習等も実施できない状況であった。	①「房総の郷土芸能2021」の開催 ・日程:1月22日・会場:東総文化会館 ・出演者:香取・海匠・山武地域7団体 ②山梨県「関東ブロック民俗芸能大会」への団体派遣 ・日程:11月7日・会場:YCC県民文化ホール ・派遣団体:「大塚ばやし保存会」 ③「かずさの国風あげフェスタ2021」の開催 ・日程:5月4日	2,967	イベントが実施できない場合は映像を配信するなど代替措置を検討する。	教育庁 文化財課
65	千葉県無形民俗文化財連絡協議会	国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。	「房総の郷土芸能2020」 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い次年度へ延期した。 「千葉の無形民俗文化財No.16」(会報) ・3500部発行 県内関係機関に配布	0	「房総の郷土芸能」は実施できなかったため成果なし。 会報の発行は、関係機関を通じ広く一般に配布することで、広く民俗芸能等の情報発信をすることができた。	「房総の郷土芸能2020」は新型コロナウイルス感染拡大により次年度へ延期した。	「房総の郷土芸能2021」の開催 ・日程:1月26日・会場:東総文化会館 「千葉の無形民俗文化財」の発行	0		教育庁 文化財課
66	郷土食体験事業 (60番 再掲)	関宿城博物館において「鷹菜漬け」「そば打ち」などの体験事業を行う	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず。	9	コロナ禍が収束を見えない状況下では中止もやむを得なかった。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず。	博物館の郷土食講座として「鷹菜漬け」「そば打ち」「小麦まんじゅう」を体験を実施。 事業数:全4件、開催日:11月8日、12月6日、1月23・24日、2月20・21・27・28日	264	新型コロナウイルス感染症予防に状況によって参加者の安全確保のため開催時期等を変更する。	教育庁 文化財課

⑦ 文化財の保存整備の支援

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
67	文化財保護 審議会	文化財指定のための 調査・審議、諮問に対 する答申、既指定文化 財の保存状況調査・保 存管理に係る指導助 言を行う。	審議会の開催(4回) ・県指定文化財の指定:新規2件、追加1件 ・指定文化財保存状況調査の結果報告:8件 文化財の保存管理、千葉県文化財保存活用大綱の策定等について、意 見をいただいた。	620	文化財指定や文化 財の保存状況につ いて適切な意見を いただくとともに、千 葉県文化財保存活 用大綱の策定を審 議会の指導を得な がら進めることが できた。	新型コロナウイルス の感染拡大状 況に対応して、リ モート会議を行う など、対策を講じ ながら審議会を実 施した。	審議会の開催(4回) ・指定候補の文化財について調査し、結果を報告すると ともに、その内容について審議する。 ・文化財の指定について審議会に諮問し、答申を受ける。 ・県指定文化財の保存状況調査を実施し、調査結果を審 議会で報告し、その内容について審議する。 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を踏まえて 運営する。 ※指定候補文化財等調査事業は文化財保護審議会に包 括。	1,560		教育庁 文化財課
68	指定候補文 化財等調査 事業	千葉県にとって重要な 文化財を永く保護す るため指定候補となる 文化財調査及び既指定 文化財の保存状況の 調査を行う。	・指定候補文化財の調査の実施(2件) ・既指定文化財の保存状況調査の実施(9件)		指定候補文化財や 既指定文化財の保 存状況について、実 地調査を行い、適切 な意見をいただくこ とができた。					教育庁 文化財課
69	文化財保存 整備助成事 業	国及び県指定文化財 の所有者が行う保存 修理等に係る助成事 業。	①国指定文化財への助成(10件) ②県指定文化財への助成(9件)	44,100	国指定・県指定文 化財の保存整備や 災害からの復旧事 業に対して助成す ることで、適切な文化 財の管理が行われ た。 国指定・県指定文 化財の活用を目的 とした整備を行った ことで、文化財の魅 力をより多くの人々 に周知することがで きた。 山車の修復、行屋 の修理、衣装の新 調などに助成する ことにより、無形民俗 文化財の保存と継 承に資することがで きた。		引き続き保存整備事業を実施予定。 ①国指定文化財:10件 ②県指定文化財:8件	54,800		教育庁 文化財課
70	文化財管理 助成事業	国指定文化財の防災 設備点検等の所有者 が行う維持管理事 業に係る助成事業。	・件数:国指定文化財(建造物)16件、国有文化財1件 ・助成の内容:日常管理費・修理費	3,315	国指定文化財の適 切な維持管理に対 して助成すること で、今後の活用環 境強化につなげた。		引き続き助成を行う予定。 ・件数:国指定文化財16件、国有文化財1件	1,270		教育庁 文化財課
71	史跡等購入 助成事業	史跡を保存活用す るために市町村が行う公 有化の助成事業。	国庫補助に伴い、助成を行う予定であったが、補助事業者の都合により 購入が中止となった。	0	事業が実施できな かったため成果なし		引き続き助成を行う予定。 ・件数:国指定文化財3件	5,865		教育庁 文化財課
72	重要遺跡確 認調査	県内に所在する重要 遺跡について確認調 査等を実施。 重要な出土品を長期 にわたり安定した状態 で保存するために、金 属製品等の保存処理 を実施。	縄文時代集落・貝塚の詳細分布調査報告書の作成・刊行。 出土金属製品等の保存処理を実施。	1,749	県内の縄文時代集 落・貝塚の位置づ け、評価を定め、保 存・活用を図るた めの基礎資料を作成 することができた。 保存処理を行うこ とにより、出土文化財 の活用を図ることが できた。		いすみ市新田野貝塚の保存目的の確認調査を実施。 古墳を対象として重要遺跡の詳細分布調査を実施。 出土金属製品等の保存処理を実施。	2,000		教育庁 文化財課
73	埋蔵文化財 緊急調査助 成	土地区画整理事業、 個人住宅建設等に 伴う発掘調査費の助成 事業。	発掘調査等の助成(23市町)	11,504	市町村の発掘調査 等費用負担を軽減 し、埋蔵文化財の保 護と事業の円滑な 調整を図ることが できた。		発掘調査等の助成(21市)	10,341		教育庁 文化財課

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
74	不特定遺跡 発掘調査助 成	事業者が個人の個人 専用住宅、小規模農 地造成等において、緊 急性の高い事業の発 掘調査費の助成事 業。	発掘調査等の助成(5市合計7件)	3,500	事業者の発掘調査 費用負担を軽減し、 埋蔵文化財の保護 と事業の円滑な調 整を図ることがで きた。		発掘調査等の助成(5市合計7件程度)	4,000		教育庁 文化財課
75	出土文化財 管理活用事 業(42番 再 掲)	地域の歴史や文化へ の関心・理解を促すた め、発掘調査中の遺 跡の状況や成果を公 開する事業。	出土文化財を活用した出前授業・体験学習等を実施した。(40件:小学校 12件1,022人/中学校1件22人/公民館等17件445人/貸出し:10件(うち通 年3件)) 作成した学習キットを必要な学校に配布し、学習キットのメンテナンスをお こなった。	2,660	緊急事態宣言の発 令や新型コロナウイ ルス感染症拡大に よる体験等事業の 自粛のため、実施 回数は大きく減少し た。	出張等事業要望 数そのものの減少	出張展示・出前授業・体験学習指導・体験学習貸出しを併 せて120回 学習キット:特別支援学校12校に配布するほか、既配布の メンテナンス、新規作成のための準備作業	4,217	動画コンテンツの 作成・公開等、新し い生活様式に即し た実施方策の検討	教育庁 文化財課
76	発掘調査現 地説明会	地域の歴史や文化へ の関心・理解を促すた め、発掘調査中の遺 跡の状況や成果を公 開する事業。	新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施しなかった。	213	実施していないため 評価不能	新型コロナウイルス 感染症拡大防 止のため、実施し なかった。	発掘調査の進捗等を勘案し、2か所程度で実施する予定。	6	実施できなかった 場合、動画コンテ ンツ等の作成・公開を 予定	教育庁 文化財課

⑧ 文化的景観等の保全・活用

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
77	景観セミ ナー	良好な景観の形成に 関する普及啓発及び 知識の普及を図るた め、県民等を対象と して、県内各地で景観セ ミナーや研修会等を開 催する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催なし。	0	開催がないため、評 価なし。	新型コロナウイルス 感染症による影 響により、予定し ていた景観セミ ナーは全て中止と なった。	景観セミナー 3回 ①浦安市共催(詳細未定) ②館山市共催(詳細未定) ③未定	1,637	新型コロナウイルス 感染症の拡大状 況次第では、WEB 開催も検討してい る。	県土整備部 公園緑地課
78	文化財探検 隊	文化財をとおして郷土 の自然と歴史、文化等 に関して理解を深め、 文化財保護の大切さ を知る見学会。	日本遺産「北総四都市江戸紀行」構成市での実施を予定していたが、新 型コロナウイルス感染症拡大のため、実施しなかった。	76に含む	実施していないため 評価不能	新型コロナウイルス 感染症拡大防 止のため、実施し なかった。	新型コロナウイルス感染症の状況をにらみつつ、日本遺産 「北総四都市江戸紀行」構成市のうち、香取市、成田市、佐 倉市での実施を予定。	6	実施できなかった 場合、動画コンテ ンツ等の作成・公開を 予定	教育庁 文化財課

⑨ 文化資源の活用と地域の活性化

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
79	ちば文化交 流ボックス(3 番 再掲)	県ホームページに「ち ば文化交流ボックス」 を設け、ちばの文化情 報を紹介するととも に、県主催事業の他、 県内各地で行われる 文化イベントや県内の 文化資源などの情報 を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームペー ジに掲載したほか、新型コロナウイルス関連情報集約ページの作成を 行った。 ・地域のイベント情報掲載数:3件 ・累計閲覧者数:649,000人	-	文化イベントや文化 資源などの情報に 加え、新型コロナウ イルス関連情報な ど、ニーズにあった 情報を提供した。		文化イベントや文化資源などに関する情報に加えて、新型 コロナウイルス関連の情報を引き続き提供することで、 ホームページの閲覧者数増加(700,000人)を目指す。	-		環境生活部 県民生活・ 文化課
80	文化プログ ラム関連イ ベント事業 「ちば文化資 産」PR事業	東京2020大会文化ブ ログラムの一つとし て、4年間かけて、県 内の文化芸術活動を 牽引するようなシンポ リックな事業を実施す る。 ○「ちば文化資産」PR 事業 平成30年度に選定し た「次世代に残したい と思う『ちば文化資 産』」のPRを行い、ち ばの文化的魅力を発 信する。	①「ちば文化資産」に関連するお祭りのフォトコンテストの実施(6月～10 月) ②観光部局と連携したフォトキャンペーンの実施(6月～9月、1月～3月) ③SNSの開設・運営(通年)、旅行雑誌への広告掲載(6月、11月)	5,066	SNSやWEBを積極 的に活用すること で、ちば文化資産を 若い世代を中心に PRできた。	新型コロナウイルス 感染症の拡大 の影響により当初 想定していた来訪 を促進するキャン ペーンができず、 魅力を周知する PR事業に留まっ た。	①観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施する ②SNSやHPにより周知を図る ③オリンピック・パラリンピック関連事業と連携し、イベント 会場や商業施設でパネルやポスター等を掲示する	0	・オリンピック・パラ リンピック関連事業 との連携、特にち ばアート祭と連携 し、商業施設での パネル展示等を行 い周知を図る点	環境生活部 県民生活・ 文化課
81	千葉県フィ ルムコミッ ション運 営事業	映画等のロケーション 誘致による地域知名 度の向上や観光客の 誘致、直接的な経済効 果を目的に、以下の取 組を行う。 (1)映像関係者に対す る相談業務及び撮影 支援 (2)市町村との連携強 化及び市町村FCの設 立の促進、ロケーシ ョン撮影の受入体制強 化 (3)ロケ地を巡る旅であ るフィルムツーリズム の促進、ロケ地と近隣 の観光スポットを絡め た情報発信等 (4)映画、テレビ番組の 誘致のための補助金 に係る広報、申請受 付、ロケ同行等	・映像制作関係者への撮影支援・ホームページ等による広報活動等の業 務を、千葉県フィルムコミッション(※)に委託して実施した。 (※平成14年度設立。ちば国際コンベンションビュロー内。) ・ホームページに文化資源の情報を掲載し、ロケーション誘致の促進を 図った。	24,150	千葉県フィルムコ ミッションのホーム ページにおいて、支 援作品のロケ地等 の紹介に併せ、周 辺の観光情報や文 化資源を紹介した。		映像制作関係者への撮影支援・ホームページ等による広 報活動等の業務を、千葉県フィルムコミッション(※)に委託 して実施する。 (※平成14年度設立。ちば国際コンベンションビュロー 内。)	28,900		商工労働部 観光誘致促 進課
82	観光イベ ントブック「ちばn ote」作成事 業	本県の旬の観光・レ ジャー情報を掲載し、 県民等向けに観光情 報を広くPRしている。	【「ちばnote」の発行】 ・回数:3回 ・内容:県の旬の観光・レジャー情報 (季節に応じたグルメ情報やイベント・祭事等の文化資源等) ・主な対象:県民等 ・配布先:鉄道駅、道の駅、宿泊施設、地方銀行、県立博物館・美術館等	7,696	ちば文化に関する 施設等の情報発信 を行った。 (掲載実績:県立房 総のむら、美術館、 博物館、神社仏閣 等)	隔月で年6回の発 行を予定していた が、新型コロナウ イルスの拡大に伴 う外出自粛要請等 の影響により、3回 の発行となった。 また、各地域のイ ベントが中止に なったことから、祭 事等の文化情報 の掲載ができな かった。	【「ちばnote」の発行予定】 ・回数:3回 ・内容:県内の観光施設・レジャー情報 ・主な対象:県民等 ・配布先:鉄道駅、道の駅、宿泊施設、地方銀行、県立博 物館・美術館等	9,940	・発行計画を見直 し、年3回発行。 ・イベントや期間限 定の情報ではなく、 通年で楽しめる施 設情報等を掲載)	商工労働部 観光誘致促 進課

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	実施計画	当初予算額 (千円)		前年度からの変更点 (令和2年度実施結果を受けての対策等)
83	歴史の里の音楽祭等 (県民芸術劇場)	重要文化財学習院旧初等科正堂において室内音楽を演奏・公開する事業。(指定管理者の自主事業)	1回実施し、参加者は80名。	0	県民に歴史的建造物への関心を深める機会と、芸術文化に親しむ機会の提供に寄与した。	なし	引き続き、県民に文化的な環境で音楽を鑑賞する機会を提供できるよう、前年度と同程度で歴史的建造物での公演を実施していく。	0	新型コロナウイルス感染症予防に状況によって開催期間・内容等を変更する。	教育庁 文化財課
84	日本遺産魅力発信推進事業	日本遺産に認定されたストーリーを地域全体として一体的に整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。平成28年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や人材育成などの事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県・市等によるイベントへの参加・出展を行った。 ・デジタルマップやホームページの更新により、最新の情報を発信した。 ・成田空港活用協議会と連携しモニターツアーを行った。 ・北総四都市ロゴマークを活用した情報発信を行った。 	100	<ul style="list-style-type: none"> ・構成4市域内における文化財活用事業のより一層の展開が見られた。 ・日本遺産北総四都市江戸紀行への周知、理解が深まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大のため、出展予定のイベントそのものが中止となり、PRの機会が減った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県・市等によるイベントへの参加・出展を行う。 ・デジタルマップやホームページの更新により、最新の情報を発信する。 ・成田空港活用協議会等との連携や、北総四都市ロゴマークの活用などによるPRを行う。 ・教育旅行誘致に係る活動を重点的に行う。 	100	0	教育庁 文化財課
85	日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会交付金	日本遺産に認定されたストーリーを地域全体として一体的に整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。今年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や人材育成などの事業を行う。	実施なし	0	—	—	—	0		教育庁 文化財課
86	県有文化財管理活用事業	郷土の文化財に対する理解を深めるとともに、文化・観光資源としての文化財の公開活用を促進するため、市町村や関係機関等との連携により、千葉県指定有形文化財「千葉県立安房南高等学校旧第一校舎」の管理・公開事業を実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施しなかったが、動画コンテンツによる公開を実施した。	1,500	実際の公開事業は実施できなかったが、動画コンテンツの公開によりある程度の成果は上がったものと思われる。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施しなかった。	新型コロナウイルス感染症の状況をにらみつつ、10月31日に実施予定。	1,521	コロナ対策として、事前申し込み制での実施を検討	教育庁 文化財課

施策の柱3 ちば文化の多様性と発信力強化による新たな価値の創出 ～多様な「ちば文化」の魅力を引き出し、発信するために～

⑩ 多様な文化の発展

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	実施計画	当初予算額 (千円)		前年度からの変更点 (令和2年度実施結果を受けての対策等)
87	文化プログラム関連イベント事業「千葉・県民音楽祭」(44番 再掲)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○千葉・県民音楽祭一般公募による参加者とプロオーケストラ「千葉交響楽団」が共演する一般参加型コンサートを実施する。	「千葉・県民音楽祭」の開催 → 東京2020大会の延期及び新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により中止した。 【当初予定】 ・出演者：千葉交響楽団・楽器演奏者・県内障害者団体・合唱団体・ダンス団体 ・日程：6月21日 ・会場：千葉県文化会館	0	中止	東京2020大会の延期及び新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により公演中止となった。	「千葉・県民音楽祭」の開催 ・出演者：千葉交響楽団・楽器演奏者・県内障害者団体・合唱団体・ダンス団体 ・日程：6月20日 ・会場：千葉県文化会館	0 (繰越 16,029千 円)	新型コロナウイルス感染症の感染対策に留意した内容とする(出演者数、観覧者数、ステージ内容、オンライン配信等)	環境生活部 県民生活・文化課
88	若者の文化芸術活動育成支援事業(34番 再掲)	若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。	「若者の文化芸術活動育成支援事業補助金」申請内容を審査し、補助金を交付した。 ・補助対象事業の実施期間：6月1日～2月28日 ・補助対象：40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費：2/3以内(上限20万円) ・補助金交付団体数：【申請数】6団体7事業/【交付数】4団体5事業	1,000	4団体5事業が実施され、県民に様々な分野の文化芸術に触れる機会を提供し、また、文化芸術の発表の機会を設けることにより、文化振興に寄与した。	新型コロナウイルス感染症の影響で、1団体が内定辞退、1団体が事業中止となった。	「若者の文化芸術活動育成支援事業補助金」申請内容を審査し、補助金を交付する。 ・補助対象事業の実施期間：6月1日～2月28日 ・補助対象：40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費：2/3以内(上限20万円) ・補助金交付団体数：【申請数】7団体7事業/【交付決定数】6団体6事業	1,200	通常通り、1団体1事業を採択した。	環境生活部 県民生活・文化課
89	県立文化会館自主事業、管理運営事業(2番 再掲)	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法：公益財団法人や株式会社による指定管理 ・会館利用者数(4館合計)：138,902名 ・利用事業数(4館合計)：2,109件 ・各館の特色を生かして、質の高い公演事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な事業を実施した。	658,512	県民の自主的な文化芸術活動の促進や、様々な場における文化芸術にふれ親しむ機会の提供に寄与した。	新型コロナウイルス感染症により多くのイベントが中止となった。	・管理・運営方法：公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・各館の特色を生かして、質の高い公演事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な事業を実施	629,400	0	環境生活部 県民生活・文化課
90	さわやかちば県民プラザ事業(ヤングパワームーブメント)	若者の自主的な活動を広く世間に広めていくために発表の機会を提供する。ボランティア活動・文化創作活動・体験活動を実践している県内の若者の活動の成果発表の場を提供する。	若者の社会参画を推進し、自由な発想による柏の葉地区におけるまちづくり活動を実施。打合せ等4日、中止4日、イベント未実施。	70	高校生がまちづくりに関して、活発な協議等ができた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、企画までとした。	実施結果の中止等については、新型コロナウイルス感染症拡大防止によるものであった。	若者の自主的な活動を広く世間に広めていくために発表の機会を提供する。ボランティア活動・文化創作活動・体験活動を実践している県内の若者の活動の成果発表の場を提供する。	188	テーマを「まちづくり」から「SDGs」に変更して実施する。	教育庁 生涯学習課

⑪ 「ちば文化」の魅力の発掘と情報の収集・提供

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
91	文化プログラム関連イベント事業「ちば文化資産」PR事業(80番再掲)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①「ちば文化資産」に関連するお祭りのフォトコンテストの実施(6月～10月) ②観光部局と連携したフォトキャンペーンの実施(6月～9月、1月～3月) ③SNSの開設・運営(通年)、旅行雑誌への広告掲載(6月、11月)	5,066	SNSやWEBを積極的に活用することで、ちば文化資産を若い世代を中心にPRできた。	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により当初想定していた来訪を促進するキャンペーンができず、魅力を周知するPR事業に留まった。	①観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施する ②SNSやHPにより周知を図る ③オリンピック・パラリンピック関連事業と連携し、イベント会場や商業施設でパネルやポスター等を掲示する	0	・オリンピック・パラリンピック関連事業との連携、特にちばアート祭と連携し、商業施設でのパネル展示等を行い周知を図る点	環境生活部 県民生活・文化課
92	ちば文化交流ボックス(3番再掲)	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載したほか、新型コロナウイルス関連情報集約ページの作成を行った。 ・地域のイベント情報掲載数:3件 ・累計閲覧者数:649,000人	-	文化イベントや文化資源などの情報に加え、新型コロナウイルス関連情報など、ニーズにあった情報を提供した。		文化イベントや文化資源などに関する情報に加えて、新型コロナウイルス関連の情報を引き続き提供することで、ホームページの閲覧者数増加(700,000人)を目指す。	-		環境生活部 県民生活・文化課
93	博物館情報システム事業	県立博物館が所蔵する資料のデータベース・デジタルミュージアムの構築と公開、情報発信事業	県立博物館・美術館のホームページにおいて収蔵資料約36万件を公開し、それらをストーリー性のある番組として構成されたデジタルミュージアムを公開。 番組数:84件	34,617	博物館・美術館収蔵資料等の情報資産、研究成果の県民への提供ができた。	新型コロナウイルス感染症拡大予防に伴う臨時休館期間中はホームページ上で「おうちで博物館」等を公開。	前年度と同程度の番組を運用。	35,258		教育庁 文化財課
94	ふさの国文化財ナビゲーションシステム	国・県指定文化財及び周知の埋蔵文化財包蔵地の地理情報をインターネット上で公開する事業。	埋蔵文化財包蔵地96件の情報を更新した。	561	アクセス数が増加しており、文化財の周知・保護において有効に活用されている。		国・県指定文化財、埋蔵文化財包蔵地の情報を更新、公開を予定。	607		教育庁 文化財課

⑫ 「ちば文化」の魅力を発信する文化事業の充実

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
95	文化プログラム関連イベント事業「ちば文化資産」PR事業(80番再掲)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①「ちば文化資産」に関連するお祭りのフォトコンテストの実施(6月～10月) ②観光部局と連携したフォトキャンペーンの実施(6月～9月、1月～3月) ③SNSの開設・運営(通年)、旅行雑誌への広告掲載(6月、11月)	5,066	SNSやWEBを積極的に活用することで、ちば文化資産を若い世代を中心にPRできた。	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により当初想定していた来訪を促進するキャンペーンができず、魅力を周知するPR事業に留まった。	①観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施する ②SNSやHPIにより周知を図る ③オリンピック・パラリンピック関連事業と連携し、イベント会場や商業施設でパネルやポスター等を掲示する	0	・オリンピック・パラリンピック関連事業との連携、特にちばアート祭と連携し、商業施設でのパネル展示等を行い周知を図る点	環境生活部 県民生活・文化課
96	県民の日事業	県民が千葉の魅力を再発見し、郷土愛を育み、千葉アイデンティティを醸成する機会とするため、「県民の日」を記念する行事を県内各地で実施する。また、県民の日中央行事として、幅広い世代の県民が楽しめる参加・体験型のイベントを実施する。 ①県民の日中央行事 ②県民の日地域行事 ③県民の日賛同行事	①県民の日中央行事、②県民の日地域行事の開催 → 東京2020大会の延期及び新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により中止した。 ③県民の日賛同行事 → 例年作成していた、賛同行事及び県民の日行事を紹介していたパンフレットの作成を中止し、参道行事一覧を県HPで公開した。	8,858	コロナ禍でありながら、県民の日の趣旨に賛同していただいた県内市町村や民間企業の取組を紹介することができた。	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響によりほとんどの事業を中止としたため、県民の日を十分に周知することができなかった。	①中央行事「県民の日ちばワクワクフェスタ2021」 ・日程:5月23日 ・場所:幕張メッセ ②地域行事:11件 ③賛同行事:市町村や民間企業等を対象に、令和2年12月から令和3年3月まで募集	74,100	新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、オンライン等の要素を取り入れた内容を検討する。	環境生活部 県民生活・文化課
97	国民文化祭周知・派遣	毎年、各県持ち回りで開催される国民文化祭について、県内に周知するとともに、県内団体の派遣に伴う事務を行う。	宮崎県「第35回国民文化祭・みやざき2020、第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会」は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催延期となった。 (当初予定:令和2年10月17日～12月6日→変更後:令和3年7月3日～10月17日)	-	実施なし	新型コロナウイルス感染症の影響により開催延期	宮崎県(令和2年度延期分)と和歌山県で開催。 ・宮崎県「第35回国民文化祭・みやざき2020、第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会」(令和3年7月3日～10月17日) ・和歌山県「第36回国民文化祭・わかやま2021、第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会」(令和3年10月30日～11月21日)	-	令和2年度の開催が延期された関係で、今年度2回開催。	環境生活部 県民生活・文化課
98	「ゆめみるチーバくん」ダンス関連事業	千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」と共に「千葉アイデンティティ」の醸成と魅力発信を目指すため、また、県民に広く芸術(舞踏)に親しむ機会を創出するため、インターネット動画から誕生したチーバくんのテーマソング&ダンス「ゆめみるチーバくん」を活用したチーバくんダンスキャラバン隊を編成し、県内の学校等での普及活動を行う。	【「チーバくん」ダンスキャラバン】 県内小中高等学校や保育・高齢者施設、県主催イベントなどにおいて、着ぐるみを用いて「チーバくんダンス」の普及活動を実施。 事業数:全186件、期間:4月1日～3月31日、場所:県内外各地	7,999	チーバくんのダンスを通して、県民に広く芸術(舞踏)に親しむ機会を提供することができた。	新型コロナウイルス感染症の影響により、ダンスキャラバン隊の派遣が見送られるケースが頻発し、活動が制限された。	千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」と共に「千葉アイデンティティ」の醸成と魅力発信を目指すため、インターネット動画から誕生したチーバくんのダンス&ソング「ゆめみるチーバくん」を活用したイベントを実施する。	11,790	新型コロナウイルス感染症の動向をにらみつつ事業の実施方法を検討する。	総合企画部 報道広報課

施策の柱4 総合的な推進のための支援・連携体制の構築 ～「ちば文化」を支えるひとを育て、つなぐために～

⑬ 「ちば文化」を担うひとづくりの推進

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
99	公立文化施設担当者研修会	県内の文化施設の設置者及び運営者に対し、文化施設の管理運営業務に関する情報提供を図る目的で、研修会を開催する。	新型コロナウイルス感染拡大により、中止した。	-			市町村文化行政主管課職員等を対象とした研修会を、今年秋冬に開催予定。	-	新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、実施時期等を検討する。	環境生活部 県民生活・文化課
100	若者の文化芸術活動育成支援事業(34番再掲)	若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。	「若者の文化芸術活動育成支援事業補助金」申請内容を審査し、補助金を交付した。 ・補助対象事業の実施期間:6月1日～2月28日 ・補助対象:40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費:2/3以内(上限20万円) ・補助金交付団体数:【申請数】6団体7事業/【交付数】4団体5事業	1,000	4団体5事業が実施され、県民に様々な分野の文化芸術に触れる機会を提供し、また、文化芸術の発表の機会を設けることにより、文化振興に寄与した。	新型コロナウイルス感染症の影響で、1団体が内定辞退、1団体が事業中止となった。	「若者の文化芸術活動育成支援事業補助金」申請内容を審査し、補助金を交付する。 ・補助対象事業の実施期間:6月1日～2月28日 ・補助対象:40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費:2/3以内(上限20万円) ・補助金交付団体数:【申請数】7団体7事業/【交付決定数】6団体6事業	1,200	通常通り、1団体1事業を採択した。	環境生活部 県民生活・文化課
101	表彰の実施	千葉県において文化の振興に関し特に功績の顕著であった個人又は団体の候補者を表彰する。	令和2年度推薦実績 ・教育功労者表彰(教育長):個人2名、1団体 ・文化の日千葉県功労者表彰(知事):個人2名 ・地域文化功労者(文部科学大臣):個人1名	-	推薦者は全員表彰が決定し、被表彰者が活動する文化芸術分野の活性化に寄与した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施している表彰式等が全て中止となった。	令和3年度推薦予定 ・教育功労者表彰(教育長):個人2名、1団体 ・文化の日千葉県功労者表彰(知事):個人1名 ・地域文化功労者(文部科学大臣):1団体	-		環境生活部 県民生活・文化課

⑭ 文化のネットワークの構築

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
102	文化活動ボランティアネットワーク	文化情報ポータルサイト「ちば文化交流ボックス」内に「文化活動ボランティアネットワーク」のページを設け、文化活動ボランティアをしたい方とお願いしたい方の両者を結びつける手助けをする。	登録情報の更新と文化活動ボランティアをしたい方とお願いしたい方のマッチングを行った。 ・文化活動ボランティア登録数:52件 ・文化活動ボランティア依頼件数:10件	-	文化活動ボランティアをしたい方、お願いしたい方双方が文化活動に関わる機会を提供した。	新型コロナウイルスの影響により、文化活動ボランティアの依頼件数が大幅に減少した。	登録情報の更新作業 ・文化活動ボランティア登録数:40件 ・文化活動ボランティア依頼件数:20件	-	環境生活部 県民生活・文化課	
103	千葉県芸術文化団体協議会	昭和45年に設立され、本県の文化芸術に係る県域・市町村団体を総括する唯一の団体で、以下の事業を行っている。 ○芸術文化フォーラム:加盟団体による公演等(一般公開)(下記の表彰授賞式も併せて開催) ○文化芸術功労表彰:加盟団体の会員を対象として、各地域で芸術文化の振興・発展に貢献した方や文化芸術活動の各分野で著しい成果を上げた方を顕彰する。 ○機関紙「芸文協ちば」の発行	【芸術文化フォーラム】中止 【文化芸術功労表彰】加盟団体からの推薦により2名を表彰 【芸文協ちば】1回発行(2号合併合)	-	○芸術文化フォーラム:中止 ○文化芸術功労表彰:フォーラムは中止となったが、理事会の際に受賞者の紹介を行うことで、文化の振興に寄与した。 ○新型コロナの影響がある中活動する団体や助成制度のお知らせを掲載することで、文化芸術活動の継続に寄与した。	○芸術文化フォーラムの中止 ○例年2階発行している機関紙を合併合として年1回の発行とした。	・芸術文化フォーラムの開催 ・文化芸術功労表彰 ・芸文協ちばを発行	-	環境生活部 県民生活・文化課	
104	子どもの読書活動の推進(38番再掲)	「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」に基づき、乳幼児期からの読書活動を推進し、子どもが自主的に読書に親しむことができる環境の整備を進めていく。主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指し、リーフレットの作成・配付や「子ども読書の集い」の開催などの啓発活動を行う。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。	「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」に基づいた取組 ①子どもの読書活動啓発リーフレットの作成・配付 ・作成部数:乳幼児向け47,765部、小学生向け48,235部 ・0歳児及び小学校1年生の保護者に配布 ②「子どもの読書活動推進計画(第四次)」冊子の作成・配付 ・作成部数:100部 ・県内教育関係施設、県内市町村教育委員会等に配布 ※千葉県子ども読書の集い開催【中止】 ※学校図書館・公立図書館連携研修会【中止】 ※全国高等学校ビブリオバトル千葉県大会【中止】	822	「子どもの読書活動啓発リーフレット」及び「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)計画の冊子」を作成配付することにより、「読書県『ちば』としての機運を高めていくため、学校等における読書活動の推進に寄与した。	「千葉県子ども読書の集い」、「学校図書館・公立図書館連携研修会」、「全国高等学校ビブリオバトル千葉県大会」を中止した。	「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」に基づき、乳幼児期からの読書活動を推進し、子どもが自主的に読書に親しむことができる環境の整備を進めていく。主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指し、リーフレットの作成・配付や「子ども読書の集い」及び「令和3年度学校図書館・公立図書館連携研修会」を実施する。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。	1,019	新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じながら「令和3年度千葉県子ども読書の集い」及び「令和3年度学校図書館・公立図書館連携研修会」を実施する。また、「全国高等学校ビブリオバトル千葉県大会」は、他課事業に移行する。	教育庁 生涯学習課
105	千葉県無形民俗文化財連絡協議会(65番再掲)	国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。	「房総の郷土芸能2020」 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い次年度へ延期した。 「千葉の無形民俗文化財No.16」(会報) ・3500部発行 県内関係機関に配布	0	「房総の郷土芸能」は実施できなかったため成果なし。会報の発行は、関係機関を通じ広く一般に配布することで、広く民俗芸能等の情報発信をすることができた。	「房総の郷土芸能2020」は新型コロナウイルス感染拡大により次年度へ延期した。	「房総の郷土芸能2021」の開催 ・日程:1月26日・会場:東総文化会館 「千葉の無形民俗文化財」の発行	0	教育庁 文化財課	

⑮ 多様な支援体制の構築

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度		担当部署名		
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	実施計画		当初予算額 (千円)	前年度からの変更点 (令和2年度実施結果を受けての対策等)
106	千葉・県民芸術祭 (1番 再掲)	県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	①【千葉・県民芸術祭県域文化団体行事】 県域で活動する文化芸術団体による絵画や詩、俳句、川柳、写真などの分野を中心とした公募展や合唱、吹奏楽、演劇などの公演等を共催した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や実施方法の見直しを行った行事があった。 事業数:全件15事業、期間:8月4日～11月29日、会場:県立美術館・各市文化会館など(全県)、来場者(合計):一般県民等(13,730名) ②【千葉・県民芸術祭中央行事】 複数の文化芸術分野の文化団体等と連携して新たな文化芸術の発表の場を設ける予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	4,600	感染対策の徹底や実施方法を誌上大会に変更する等の工夫により一部の事業は実施することができ、「県民の自主的な文化芸術活動の促進」に寄与した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした事業が全体の半数程度を占める状況となり、中央行事も中止とした。	【千葉・県民芸術祭県域文化団体行事】 事業数:28件、期間:7月～12月、会場:県立美術館など全県で実施 【千葉・県民芸術祭中央行事】 日程:10月3日(日)、会場:千葉県文化会館、出演者・団体:県域で活動する文化芸術団体、県内高等学校等(9団体)	5,320	新型コロナウイルス対策として、スケジュールや実施内容の見直しを行う。一方、可能な限り広報活動の充実に取り組むとともに、「中央行事」は若い世代の来場を促すことができるよう、企画内容充実を図る。	環境生活部 県民生活・文化課
107	文化振興事業の後援	県民の文化芸術活動を支援するため、文化芸術活動に関する公演や展覧会等の行事に対して、県後援名義の使用承認を行う。	県民生活・文化課 名義後援55件 文化財課 名義後援19件	0	県民の文化芸術活動の支援に寄与した。	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、中止となった行事があった。	引き続き、県民の文化芸術活動を支援し、活性化を図るため、後援名義の使用、承認を行う。	0		環境生活部 県民生活・文化課 教育庁 文化財課
108	ちば文化交流ボックス(3番 再掲)	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載したほか、新型コロナウイルス関連情報集約ページの作成を行った。 ・地域のイベント情報掲載数:3件 ・累計閲覧者数:649,000人	-	文化イベントや文化資源などの情報に加え、新型コロナウイルス関連情報など、ニーズにあった情報を提供した。	文化イベントや文化資源などに関する情報に加えて、新型コロナウイルス関連の情報を引き続き提供することで、ホームページの閲覧者数増加(700,000人)を目指す。	-		環境生活部 県民生活・文化課	

⑩ 文化発信拠点としての文化施設等の機能の充実

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
109	県立文化会館自主事業、管理運営事業 (2番 再掲)	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	<ul style="list-style-type: none"> 管理・運営方法:公益財団法人や株式会社による指定管理 会館利用者数(4館合計):138,902名 利用事業数(4館合計):2,109件 各館の特色を生かして、質の高い公演事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な事業を実施した。 	658,512	県民の自主的な文化芸術活動の促進や、様々な場における文化芸術にふれ親しむ機会の提供に寄与した。	新型コロナウイルス感染症により多くのイベントが中止となった。	<ul style="list-style-type: none"> 管理・運営方法:公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 各館の特色を生かして、質の高い公演事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な事業を実施 	629,400		環境生活部 県民生活・文化課
110	文化事業 (13番 再掲)	歴史講演会、古文書講座・県史講座、出前講座、常設展、企画展等を文書館で開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 歴史講演会「幕末維新の改元と房総」7月22日開催 参加者 24名 古文書講座 11月4日～11月27日(3コース、各3日間) 延べ参加人数 233名 出前講座 令和2年8月18日～令和3年3月3日 35回実施 県史講座 中止 企画展「千葉県と疫病ーくり返す脅威ー」(令和2年10月1日～令和3年1月7日) 入場者 1,913名 ミニ企画展 <ul style="list-style-type: none"> ①「千葉を照らす電気のおかげー電気事業ことはじめー」7月1日～9月15日 入場者 232名 ②「房総へやってきた武士たちー鳥飼家文書に見る海防と奈良輪村ー」3月23日～3月31日 常設展「史料から見るふるさと房総の歴史と文化」3月23日～3月31日 入場者(上記ミニ企画展②と合わせて) 110名 	1,251	講演会・講座、展示の開催に当たっては、その都度、県民の関心事に配慮しながら魅力あるテーマを選定した結果、多くの参加者を得られ文書館の利用拡大に寄与した。	<ul style="list-style-type: none"> 歴史講演会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受講者の人数を120名から30名に縮小した。 古文書講座 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受講者数を各コース120名のところ、30名に縮小した。 県史講座 緊急事態宣言により休館のため、中止となる。 企画展 1月7日に緊急事態宣言が出され、翌日から休館し、中止となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史講演会「ふさの国の彫物大工・波の伊八、その実像を探る」7月9日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 古文書講座 11月4日～11月24日(3コース、各3日間) 出前講座 令和3年6月10日～令和4年2月1日(全38回) 県史講座「私の街に電気が来た日ー千葉県の電気事業ー」(仮) 2月(日にち未定) ミニ企画展 <ul style="list-style-type: none"> ①「房総へやってきた武士たちー鳥飼家文書に見る海防と奈良輪村ー」4月1日～6月29日 ②「渋沢栄一の書簡ー大蔵卿松方正義宛ての招待状ー」7月1日～9月15日 企画展「房総の廃藩置県」(仮) 令和3年10月1日～令和4年2月26日 常設展「史料から見るふるさと房総の歴史と文化」①4月1日～9月15日②令和4年3月14日～3月30日 	1,755		文書館
111	さわやかちば県民プラザ事業 (4番 再掲)	音楽ワークショップ、東葛飾文化祭、ザ・ワールドオブプラス、クリスマスコンサート、高校生バンドフェスティバル、書のパフォーマンス発表会、さわやかアゴラコンサートなどを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 県民の自主的な文化活動の促進及び文化活動の機会の提供に向けて主に7講座を企画し、次の4講座を実施した。 ①音楽ワークショップ 柏の葉吹奏楽団を結成し、吹奏楽の練習の場と発表機会の提供。9日実施(人数を半分分けて実施)。また中止6日。 ②高校生バンドフェスティバル 県内高校生の軽音楽発表機会の提供。1次審査(音源)を実施後、フェスティバルを2日に分け、一般の参観はなしとして実施。 ③書のパフォーマンス発表会 高校書道部による実行委員会が企画・運営する場の提供。実行委員会2日(中止3日)、イベント1日(一般の参観はなし)。 ④アゴラマンスリーコンサート 所の利用者等によるコンサート。2日。中止6日。 	402	参加者自らが創り上げる文化活動を支援するとともに、文化活動が多くの県民に触れる場となるよう広報も工夫した。	事業概要に掲載している、実施結果にない講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。また、実施結果にある中止等は、新型コロナウイルス感染症拡大防止によるものであった。	<ul style="list-style-type: none"> 音楽ワークショップ、ザ・ワールドオブプラス、クリスマスコンサート、高校生バンドフェスティバル、書のパフォーマンス発表会、さわやかアゴラコンサートなどを実施する。(事業概要中、3講座削除、1講座追加) 	423	新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、実施の可否を引き続き検討しながら進めていく。	教育庁 生涯学習課

No.	事業名	事業概要	令和2年度				令和3年度			担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)	前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)	
112	県立図書館 事業 (26番 再 掲)	①県民への情報提供、図書の貸出・返却及び資料管理を的確かつ迅速に行うため、電算処理による図書館情報システムを導入し、円滑な運用を図る。 ②県民の読書や調査研究活動の支援と市町村立図書館等への協力・援助のために、書籍の収集整備をする。 ③子どもへの本の読み聞かせや読書の重要性について一層の理解を深めてもらうため、読み聞かせのボランティア活動を行う方などを対象に、子どもの本の読み聞かせについての講座を開催するほか、特別支援学校を訪問して読み聞かせを実施する。 ④県民が身近な市町村立図書館等を通じて県立図書館及び他の市町村立図書館の資料が利用できるよう、県内公共図書館間に情報と物流のネットワークを構築して運用している。また、高等学校・特別支援学校には、資料搬送車や宅配便による資料の貸出しを行っている。	①図書館情報システムの運用 電算処理によるシステム(平成29年11月更新)を活用し、個人や図書館等への貸出、蔵書管理、所蔵資料情報の公開等を継続して行い、円滑に運用している。 ②書籍の収集整備 市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に10,834冊を購入整備した。 ③-1 読み聞かせボランティア入門講座 ・期間:9月30日 ・回数:1回 ・場所:館山市 ・参加者(合計):一般県民等(23名) ③-2 特別支援学校訪問読書支援 ・期間:通年 ・回数:9校 ・場所:各特別支援学校 ・参加者(合計):特別支援学校教職員・児童・生徒等(1,152名) ④図書館ネットワークの構築・運用 県内図書館や県立学校等へ図書館ネットワークを通じて167千冊の貸出しを行った。	132,021	整備した蔵書で、県民に対する直接貸出だけでなく、県内図書館等への貸出により広く県民へ資料を提供することができた。 地域の子どもや特別支援学校児童生徒の読書環境向上に寄与することができた。		①図書館情報システムの運用(予算65,776千円) ②書籍の収集整備 市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に収集整備。(予算52,000千円) ③読み聞かせボランティア入門講座/特別支援学校訪問読書支援 (予算234千円) ④図書館ネットワークの構築・運用(予算19,446千円)	137,456		教育庁 生涯学習課
113	県立学校開放講座	県立学校が保有する優れた教育機能を地域に開放し、多様化、高度化及び専門化する県民の学習要求に応え、生涯学習の振興に資するとともに開かれた学校づくりを促進する。	・開講数:4校4講座 ・内容:書道、科学実験、野菜の栽培等	106	多様化、高度化及び専門化する県民の学習要求に応え、生涯学習の振興に資することができた。	新型コロナウイルス感染症の影響により、12校13講座が中止になった。	・開講数:16校17講座 ・内容:書道、科学実験、野菜の栽培等	484		教育庁 生涯学習課
114	県立学校施設開放事業	県立学校の文化施設や、学校開放を目的として建設された地域交流施設等の開放を行い、生涯学習関連団体等の活動支援を行う。	・実施場所:県立学校4校(文化施設3校、交流施設1校)	1,616	県立学校の文化施設や、学校開放を目的として建設された地域交流施設等の開放を行うことで、生涯学習関連団体等の活動支援ができた。	新型コロナウイルス感染症の影響により4月から当面の間、施設開放を休止とした。また、3校がコロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。	・実施場所:7校(文化施設5校、交流施設2校)	2,353		教育庁 生涯学習課

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
115	県立美術館・博物館事業 (5番 再掲)	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	<p>①【ちば文化発信事業特別展】 美術館において「日本文化の華 大相撲展」を開催。 (期間:1月16日～3月21日、場所:美術館、臨時休館につき入場者:0名)</p> <p>②【企画展・特別展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立博物館各館が千葉県自然・文化・歴史を紹介する展示。 ・中央博物館「ちばの縄文 貝塚から探る縄文人の暮らし」(10,564名) ・中央博物館大利根分館「ちばらき」(中止) ・中央博物館大多喜城分館「福を呼ぶ小袖と房総の万祝」(12,118名) ・現代産業科学館「プラネタリウム上映会」(中止)・「カ・ラ・ク・る 歯車が伝える動き」(中止) ・関宿城博物館「関東のへそ～地勢と暮らしの歴史～」(17,086名) ・房総のむら「千葉のまつり」(3,871名) <p>③【チバミュージアムフェスタ2020】 県立博物館・美術館が連携し、オリンピック・パラリンピックと千葉県のスポーツ史の関連を紹介する展示。 中央博物館(19,212名)、中央博物館大利根分館(547名)、中央博物館大多喜城分館(2,924名)、中央博物館分館海の博物館(2,607名)、美術館(2,245名)、現代産業科学館(臨時休館につき0名)、関宿城博物館(臨時休館につき0名)</p>	27,807	展示及び広報活動により千葉県の魅力の発信に寄与した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、各館で以下の期間を臨時休館 ・4月1日～5月25日:美術館、中央博物館、房総のむら ・4月1日～6月1日:大利根分館、大多喜城分館、分館海の博物館、現代産業科学館、関宿城博物館 ・1月9日～3月22日:中央博物館、大利根分館、大多喜城分館、分館海の博物館、現代産業科学館、関宿城博物館、房総のむら ・1月13日～3月22日:美術館	<p>①【ちば文化発信事業特別展】 美術館において「漆黒のモダン 漆芸家 佐治賢使展」を開催。 期間:10月30日～令和4年1月16日、場所:美術館</p> <p>②【企画展】 県立博物館各館が千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示。中央博物館「バラのすべて-All about Roses-」(10月9日～11月28日)、中央博物館大利根分館「ちばらき」(5月29日～6月27日)、中央博物館大多喜城分館「兜とカブト」(10月22日～12月5日)、現代産業科学館「プラネタリウム上映会」(中止決定)・「カ・ラ・ク・る-歯車が伝える動き-」(10月16日～12月5日)、関宿城博物館「関宿関所は川関所!」(10月1日～11月28日)、房総のむら「千葉の民俗芸能」(10月2日～11月23日)</p> <p>③【チバミュージアムフェスタ2020】 県立博物館・美術館が連携し、オリンピック・パラリンピックと千葉県のスポーツ史の関連を紹介する展示。</p>	49,332	新型コロナウイルス感染症予防に状況によって開催期間・内容等を変更する。	教育庁 文化財課
116	千葉フィールドミュージアム事業	地域の自然や文化そのものを資料として考えた新たな博物館事業。	「山」は中央博物館、「川」は中央博物館大利根分館と関宿城博物館、「海」は中央博物館分館海の博物館を拠点に観察会・見学会等を実施。 事業数:全11件、参加者:66名	6,392	千葉県の魅力の再発見と発信に寄与した	令和2年4月1日から5月26日又は6月3日まで、臨時休館に伴い事業を中止。令和3年1月9日又は13日から3月23日まで、臨時休館に伴い事業を中止。開館中も新型コロナウイルス感染症拡大予防のための実施内容によって中止。	前年度と同程度の事業を実施。 ・事業数:全76件程度	7,069	新型コロナウイルス感染症予防に状況によって実施内容等を変更する。	教育庁 文化財課

施策の柱5 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたちばの文化力向上 ～更なる発展に向けて～

⑰ 新しい文化と古からの文化が織りなす「ちば文化」の世界への発信

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
117	文化プログラム関連イベント事業「千葉・県民音楽祭」(44番 再掲)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○千葉・県民音楽祭一般公募による参加者とプロオーケストラ	「千葉・県民音楽祭」の開催 → 東京2020大会の延期及び新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により中止した。 【当初予定】 ・出演者:千葉交響楽団・楽器演奏者・県内障害者団体・合唱団体・ダンス団体 ・日程:6月21日 ・会場:千葉県文化会館	0	中止	東京2020大会の延期及び新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により公演中止となった。	「千葉・県民音楽祭」の開催 ・出演者:千葉交響楽団・楽器演奏者・県内障害者団体・合唱団体・ダンス団体 ・日程:6月20日 ・会場:千葉県文化会館	0 (繰越 16,029千 円)	新型コロナウイルス感染症の感染対策に留意した内容とする(出演者数、観覧者数、ステージ内容、オンライン配信等)	環境生活部 県民生活・ 文化課
118	文化プログラム関連イベント事業「ちば文化資産」PR事業(80番 再掲)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①「ちば文化資産」に関連するお祭りのフォトコンテストの実施(6月～10月) ②観光部局と連携したフォトキャンペーンの実施(6月～9月、1月～3月) ③SNSの開設・運営(通年)、旅行雑誌への広告掲載(6月、11月)	5,066	SNSやWEBを積極的に活用することで、ちば文化資産を若い世代を中心にPRできた。	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により当初想定していた来訪を促進するキャンペーンができず、魅力を周知するPR事業に留まった。	①観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施する ②SNSやHPにより周知を図る ③オリンピック・パラリンピック関連事業と連携し、イベント会場や商業施設でパネルやポスター等を掲示する	0	・オリンピック・パラリンピック関連事業との連携、特にちばアート祭と連携し、商業施設でのパネル展示等を行い周知を図る点	環境生活部 県民生活・ 文化課
119	文化プログラム関連イベント事業「ちばアート祭」	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○ちばアート祭 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」を会場や作品のテーマとして活用し、あらゆる人々が参加・体験できるアートイベントを開催する。	①作品公募(令和2年度開催分) 「ちば文化資産」をテーマとした絵画や写真作品を公募した。 ・令和元年12月5日～令和2年5月25日 ・応募点数:801点 ②イベント開催 公募作品の展覧会やワークショップ(オンライン含む)を実施した。 ・期間:8月4日～9月6日 ・来場者数:延べ7,907人 ※東京2020大会の延期及び新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、当初予定していたデジタルアート作品や屋外作品の展示等は中止した。 ③作品公募(令和3年度開催分) 「ちば文化資産」をテーマとした絵画や写真作品の公募を開始した。 ・期間:令和3年2月24日～令和3年5月10日	60,687	アートを通じて千葉県県の文化に触れる機会を創出した他、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響によりイベント実施が難しい中、WEBを通じた作品公開やワークショップ、感染症対策を講じた展覧会の実施など、感染拡大下でのアートイベントの実施方法を模索できた。	東京2020大会の延期及び新型コロナウイルス感染症の拡大の影響によりイベントの大部分を中止した。	①作品公募(令和3年度開催分) 「ちば文化資産」をテーマとした絵画や写真作品の公募を開始した。 ・期間:令和3年2月24日～令和3年5月10日 ②イベント開催 公募作品の展覧会や、デジタルアート及び屋外作品の展示、ワークショップを実施する。 ・期間:7月31日～9月5日	0 (繰越 210,124 千円)	前年度中止となったコンテンツの実施、新型コロナウイルス感染症の対策が難しいコンテンツの中止(香取会場や、飲食を伴うコンテンツ等)	環境生活部 県民生活・ 文化課

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
120	文化プログラムの申請	東京2020大会の機運醸成や関係機関等との新たな関係性の構築、「ちば文化」の発信等を図るため、組織委員会が行う「東京2020公認プログラム(文化プログラム)」等への申請や当該プログラムの周知を行う。	東京2020大会の機運醸成や関係機関等との新たな関係性の構築、「ちば文化」の発信等を図るため、組織委員会が行う「東京2020公認プログラム(文化プログラム)」等への申請やホームページで当該プログラムの周知を行った。 令和2年度公認文化プログラム認証件数:8件	0	県主催の新規事業も公認文化プログラムとして承認され、「ちば文化」の一層の発信を図ることができた。		令和3年3月31日現在、本年度に実施する1事業について公認プログラムの認証を得ており、引き続き対象となる事業について認証を得ていく。 令和3年6月に実施する「千葉・県民音楽祭」をNIPPONフェスティバルとして実施する。	0	引続き当該プログラムの周知を図る。	環境生活部 県民生活・文化課
121	beyond2020プログラムの申請	国と東京都が一体となって推進する文化プログラムであるbeyond2020プログラムについて、関係機関等へ周知し、様々な団体が実施する文化事業が認定を受けることで、本県での多様な文化芸術活動の展開を促進する。	beyond2020プログラムについて、関係機関等へ周知し、様々な団体が実施する文化事業を認定し、本県での多様な文化芸術活動の展開を促進した。 ・県内認証数:51件(内、県が認証したもの:42件)	0	県内認証件数及び県認証件数が、前年度に比べて大幅な減少が見られた。	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、多くの団体がイベントを実施しなかったことが認証件数減少の理由と考えられる。	申請があった文化事業に対して、認証を行う。 認証件数の増加を図るため、効果的な周知方法等の検討を行う。	0	県内市町村等へ再度チラシの配布を行い、プログラムの再周知を図る。	環境生活部 県民生活・文化課
122	県立美術館・博物館事業(5番 再掲)(抜粋)	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	【チバミュージアムフェスタ2020】 県立博物館・美術館が連携し、オリンピック・パラリンピックと千葉県のスポーツ史の関連を紹介する展示。 中央博物館(19,212名)、中央博物館大利根分館(547名)、中央博物館大多喜城分館(2,924名)、中央博物館分館海の博物館(2,607名)、美術館(2,245名)、現代産業科学館(臨時休館につき0名)、関宿城博物館(臨時休館につき0名)	27,807 (金額は県立美術館・博物館事業全体)	展示及び広報活動により千葉県の魅力の発信に寄与した。 チバミュージアムフェスタ2020ではオリンピック・パラリンピックの機運醸成に寄与した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、各館で以下の期間を臨時休館 ・4月1日～5月25日:美術館、中央博物館、房総のむら ・4月1日～6月1日:大利根分館、大多喜城分館、分館海の博物館、現代産業科学館、関宿城博物館 ・1月9日～3月22日:中央博物館、大利根分館、大多喜城分館、分館海の博物館、現代産業科学館、関宿城博物館、房総のむら ・1月13日～3月22日:美術館	【チバミュージアムフェスタ2020】 県立博物館・美術館が連携し、オリンピック・パラリンピックと千葉県のスポーツ史の関連を紹介する展示。	49,332 (金額は県立美術館・博物館事業全体)	新型コロナウイルス感染症予防に状況によって開催期間・内容等を変更する。	教育庁 文化財課

⑱ 障害者、高齢者、青少年、外国人等、国内外のあらゆる人々が参加・交流できる機会の創出

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
123	県民の日事業 (96番 再掲)	県民が千葉の魅力 を再発見し、郷土愛を 育み、千葉アイデンティ ティーを醸成する機会 とするため、「県民の 日」を記念する行事を 県内各地で実施する。 また、県民の日中央行 事として、幅広い世代 の県民が楽しめる参 加・体験型のイベント を実施する。 ①県民の日中央行事 ②県民の日地域行事 ③県民の日賛同行事	①県民の日中央行事、②県民の日地域行事の開催 → 東京2020大会の延期及び新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により中止した。 ③県民の日賛同行事 → 例年作成していた、賛同行事及び県民の日行事を紹介していたパンフレットの作成を中止し、参道行事一覧を県HPで公開した。	8,858	コロナ禍でありながら、県民の日の趣旨に賛同していただいた県内市町村や民間企業の取組を紹介することができた。	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響によりほとんどの事業を中止としたため、県民の日を十分に周知することができなかった。	①中央行事「県民の日はワクワクフェスタ2021」 ・日程:5月23日 ・場所:幕張メッセ ②地域行事:11件 ③賛同行事:市町村や民間企業等を対象に、令和2年12月から令和3年3月まで募集	74,100	新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、オンライン等の要素を取り入れた内容を検討する。	環境生活部 県民生活・文化課
124	千葉・県民芸術祭 (1番 再掲)	県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	①【千葉・県民芸術祭県域文化団体行事】 県域で活動する文化芸術団体による絵画や詩、俳句、川柳、写真などの分野を中心とした公募展や合唱、吹奏楽、演劇などの公演等を共催した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や実施方法の見直しを行った行事があった。 事業数:全件15事業、期間:8月4日～11月29日、会場:県立美術館・各市文化会館など(全県)、来場者(合計):一般県民等(13,730名) ②【千葉・県民芸術祭中央行事】 複数の文化芸術分野の文化団体等と連携して新たな文化芸術の発表の場を設ける予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	4,600	感染対策の徹底や実施方法を誌上大会に変更する等の工夫により一部の事業は実施することができ、「県民の自主的な文化芸術活動の促進」に寄与した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした事業が全体の半数程度を占める状況となり、中央行事も中止とした。	【千葉・県民芸術祭県域文化団体行事】 事業数:28件、期間:7月～12月、会場:県立美術館など全県で実施 【千葉・県民芸術祭中央行事】 日程:10月3日(日)、会場:千葉県文化会館、出演者・団体:県域で活動する文化芸術団体、県内高等学校等(9団体)	5,320	新型コロナウイルス対策として、スケジュールや実施内容の見直しを行う。一方、可能な限り広報活動の充実に取り組むとともに、「中央行事」は若い世代の来場を促すことができるよう、企画内容充実を図る。	環境生活部 県民生活・文化課
125	若者の文化芸術活動育成支援事業 (34番 再掲)	若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。	「若者の文化芸術活動育成支援事業補助金」申請内容を審査し、補助金を交付した。 ・補助対象事業の実施期間:6月1日～2月28日 ・補助対象:40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費:2/3以内(上限20万円) ・補助金交付団体数:【申請数】6団体7事業/【交付数】4団体5事業	1,000	4団体5事業が実施され、県民に様々な分野の文化芸術に触れる機会を提供し、また、文化芸術の発表の機会を設けることにより、文化振興に寄与した。	新型コロナウイルス感染症の影響で、1団体が内定辞退、1団体が事業中止となった。	「若者の文化芸術活動育成支援事業補助金」申請内容を審査し、補助金を交付する。 ・補助対象事業の実施期間:6月1日～2月28日 ・補助対象:40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費:2/3以内(上限20万円) ・補助金交付団体数:【申請数】7団体7事業/【交付決定数】6団体6事業	1,200	通常通り、1団体1事業を採択した。	環境生活部 県民生活・文化課
126	文化プログラム関連イベント事業「千葉・県民音楽祭」 (44番 再掲)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○千葉・県民音楽祭一般公募による参加者とプロオーケストラ「千葉交響楽団」が共演する一般参加型コンサートを実施する。	「千葉・県民音楽祭」の開催 → 東京2020大会の延期及び新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により中止した。 【当初予定】 ・出演者:千葉交響楽団・楽器演奏者・県内障害者団体・合唱団体・ダンス団体 ・日程:6月21日 ・会場:千葉県文化会館	0	中止	東京2020大会の延期及び新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により公演中止となった。	「千葉・県民音楽祭」の開催 ・出演者:千葉交響楽団・楽器演奏者・県内障害者団体・合唱団体・ダンス団体 ・日程:6月20日 ・会場:千葉県文化会館	0 (繰越 16,029千 円)	新型コロナウイルス感染症の感染対策に留意した内容とする(出演者数、観覧者数、ステージ内容、オンライン配信等)	環境生活部 県民生活・文化課
127	文化プログラムの申請 (120番 再掲)	東京2020大会の機運醸成や関係機関等との新たな関係性の構築、「ちば文化」の発信等を図るため、組織委員会が行う「東京2020公認プログラム(文化プログラム)」等への申請や当該プログラムの周知を行う。	東京2020大会の機運醸成や関係機関等との新たな関係性の構築、「ちば文化」の発信等を図るため、組織委員会が行う「東京2020公認プログラム(文化プログラム)」等への申請やホームページで当該プログラムの周知を行った。 令和2年度公認文化プログラム認証件数:8件	0	県主催の新規事業も公認文化プログラムとして承認され、「ちば文化」の一層の発信を図ることができた。		令和3年3月31日現在、本年度に実施する1事業について公認プログラムの認証を得ており、引き続き対象となる事業について認証を得ていく。 令和3年6月に実施する「千葉・県民音楽祭」をNIPPONフェスティバルとして実施する。	0	引き続き当該プログラムの周知を図る。	環境生活部 県民生活・文化課

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
128	beyond2020 プログラムの 申請 (121番 再 掲)	国と東京都が一体と なって推進する文化プ ログラムである beyond2020プログラム について、関係機関等 へ周知し、様々な団体 が実施する文化事業 が認定を受けること で、本県での多様な文 化芸術活動の展開を 促進する。	beyond2020プログラムについて、関係機関等へ周知し、様々な団体が実施する文化事業を認定し、本県での多様な文化芸術活動の展開を促進した。 ・県内認証数:51件(内、県が認証したもの:42件)	0	県内認証件数及び 県認証件数が、前 年度に比べて大幅 な減少が見られた。	新型コロナウイルス 感染症の拡大 の影響により、多 くの団体がイベン トを実施しなかつ たことが認証件数 減少の理由と考え られる。	申請があった文化事業に対して、認証を行う。 認証件数の増加を図るため、効果的な周知方法等の検討を行う。	0	県内市町村等へ再 度チラシの配布を 行い、プログラムの 再周知を図る。	環境生活部 県民生活・ 文化課
129	文化施設に おける多言 語表記、無 料公衆無線 LANの整備	文化施設における多 言語表記、無料公衆 無線LANの整備を進 め、「ちば文化」の魅力 を発信する。	県立博物館・美術館全館で無料公衆無線LANの運用を行った。外国語ホームページ・多言語表記の運用については、一部実施。	0	千葉県の魅力の発 信に寄与した。		先行して実施した外国語ホームページ・多言語表記の運用実績を踏まえ、他館での整備について検討する。	0		教育庁 文化財課
130	「#ちよい ボラ」キャン ペーン	身近なことでできる” ちょっとした”ボラン ティアのことを「#ち よいボラ」とし、主 に東京2020で外国 人等へ配布する「お もてなしグッズ」を 作成する「ちよいつ く」、自由提案型の ちよいボラ「ちよい ○○」をキャッチフ レーズに推進する。	東京2020大会に向け、来県者などへのプレゼントとして「おもてなしグッズ」を公募したり、自身の活動を「ちよい○○」活動報告を公募して県HPで行った。 ①「おもてなしグッズ」報告:9,574点 ②県民等からの問合せ:33件	10	新型コロナウイルス 感染症の影響によ り、在宅の機会が増 えたことから、家で 手軽にできる「ちよ いつく」について、好 評いただき、多くの グッズが集まった。	新型コロナウイルス 感染症の影響 により、イベントが 中止等になったた め、ブース出展を 行うことができな く、啓発する機会 が減少した。	①「おもてなしグッズ」報告受付:6月末まで ②「ちよい○○」活動報告受付:通年	0		環境生活部 県民生活・ 文化課

⑱ 観光等様々な分野との連携による文化資源の活用

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
131	文化プログラム関連イベント事業「ちば文化資産」PR事業(80番 再掲)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①「ちば文化資産」に関連するお祭りのフォトコンテストの実施(6月～10月) ②観光部局と連携したフォトキャンペーンの実施(6月～9月、1月～3月) ③SNSの開設・運営(通年)、旅行雑誌への広告掲載(6月、11月)	5,066	SNSやWEBを積極的に活用することで、ちば文化資産を若い世代を中心にPRできた。	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により当初想定していた来訪を促進するキャンペーンができず、魅力を周知するPR事業に留まった。	①観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施する ②SNSやHPIにより周知を図る ③オリンピック・パラリンピック関連事業と連携し、イベント会場や商業施設でパネルやポスター等を掲示する	0	・オリンピック・パラリンピック関連事業との連携、特にちばアート祭と連携し、商業施設でのパネル展示等を行い周知を図る点	環境生活部 県民生活・文化課
132	千葉県フィルムコミッション運営事業(81番 再掲)	映画等のロケーション誘致による地域知名度の向上や観光客の誘致、直接的な経済効果を目的に、以下の取組を行う。 (1)映像関係者に対する相談業務及び撮影支援 (2)市町村との連携強化及び市町村FCの設立の促進、ロケーション撮影の受入体制強化 (3)ロケ地を巡る旅であるフィルムツーリズムの促進、ロケ地と近隣の観光スポットを絡めた情報発信等 (4)映画、テレビ番組の誘致のための補助金に係る広報、申請受付、ロケ同行等	・映像制作関係者への撮影支援・ホームページ等による広報活動等の業務を、千葉県フィルムコミッション(※)に委託して実施した。 (※平成14年度設立。ちば国際コンベンションビュロー内。) ・ホームページに文化資源の情報を掲載し、ロケーション誘致の促進を図った。	24,150	千葉県フィルムコミッションのホームページにおいて、支援作品のロケ地等の紹介に併せ、周辺の観光情報や文化資源を紹介した。		映像制作関係者への撮影支援・ホームページ等による広報活動等の業務を、千葉県フィルムコミッション(※)に委託して実施する。 (※平成14年度設立。ちば国際コンベンションビュロー内。)	28,900		商工労働部 観光誘致促進課
133	観光イベントブック「ちばnote」作成事業(82番 再掲)	本県の旬の観光・レジャー情報を掲載し、県民等向けに観光情報を広くPRしている。	【「ちばnote」の発行】 ・回数:3回 ・内容:県の旬の観光・レジャー情報(季節に応じたグルメ情報やイベント・祭事等の文化資源等) ・主な対象:県民等 ・配布先:鉄道駅、道の駅、宿泊施設、地方銀行、県立博物館・美術館等	7,696	ちば文化に関する施設等の情報発信を行った。 (掲載実績:県立房総のむら、美術館、博物館、神社仏閣等)	隔月で年6回の発行を予定していたが、新型コロナウイルスの拡大に伴う外出自粛要請等の影響により、3回の発行となった。また、各地域のイベントが中止になったことから、祭事等の文化情報の掲載ができなかった。	【「ちばnote」の発行予定】 ・回数:3回 ・内容:県内の観光施設・レジャー情報 ・主な対象:県民等 ・配布先:鉄道駅、道の駅、宿泊施設、地方銀行、県立博物館・美術館等	9,940	・発行計画を見直し、年3回発行。 ・イベントや期間限定の情報ではなく、通年で楽しめる施設情報等を掲載)	商工労働部 観光誘致促進課

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナ ウイルス感染症に よる影響等)	実施計画	当初予 算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
134	「グリーン・ブルー・リズムinちば」推進事業	農林水産業に対する都市住民の理解促進や都市と農山漁村の交流を促進し、県及び地域が一体となった農山漁村の活性化を図る。農林水産物直売所及び農林漁業体験施設等のPRや関係者向け研修会を開催しグリーン・ブルーツーリズムを促進する。	①直売所フェア2020の開催 ・期間:11月7日～12月13日 ・参加店舗数:166店舗 ・内容:購入者を対象としたプレゼントキャンペーン、消費者を対象に千葉県産農産物や郷土料理、地域ならではの農林水産物加工品等のPRを実施。 ②農林水産物直売所の生産者や農林漁業体験施設の関係者等を対象とした研修会 農林水産物直売所の生産者等を対象とした研修会を各地域で実施。(直売所におけるコロナ対策、食品表示研修会等)	7,056	都市農山漁村交流促進のため、観光の魅力の一つとして地域の食文化を位置づけ、特産農林水産物や郷土料理を販売する農林水産物直売所の来訪者増加、販売促進をととして地域の活性化図った。	台風や大雨からの復興に取り組んでいる産地を支援し、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいる、農林水産物や観光需要の回復を図るため、新たにお取り寄せ店舗及び観光施設を対象施設に加えた。また、研修会は感染拡大防止のため、資料配付やオンライン開催等で実施した。	①直売所フェア2021の開催 ・期間:11月～12月(予定) ・内容:施設のPRやプレゼントキャンペーン ②農林水産物直売所の生産者や農林漁業体験施設の関係者等を対象とした研修会 地域の実情に合わせて実施。	9,174	①新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、開催時期・開催方法について検討中。	農林水産部 流通販売課
135	食のおもてなし力向上事業 (55番 再掲)	2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、国内外からの観光客のさらなる増加が見込まれる中、食に関する魅力ある観光地づくりとおもてなし力の向上を図るため、本県ならではの食の魅力として「郷土料理」に着目し、観光客が本県の誇る郷土料理を知り、味わえる環境づくりを進める。	オリパラ関連事業のためオリパラ延期に伴い中止	0			郷土料理フェアの開催 ・期間:12月～1月(予定) ・内容:郷土料理を提供・販売する施設のPR	2,535	オリパラに合わせた事業実施を新型コロナウイルス感染症の状況を踏え断念。 しかしながら、本事業は郷土料理の魅力を広く発信し、観光コンテンツとして定着を図るものがあるため、状況に合わせて内容の見直しを行った上で実施する(検討中)	農林水産部 流通販売課
136	「千葉の海」丸ごと満喫事業	都市と漁村の交流促進、水産物の消費拡大による漁村の活性化を図るため、観光キャンペーンと連携した水産物直売所のPR等を展開する。	県内の水産物直売所等を紹介する「新鮮！ちばの海の幸！水産物直売所マップ」を作成し、首都圏の駅やSA等で配布した。 ・作成部数:120,000部(NEXCO版55,000部、JR版65,000部) ・配布先:JR主要駅、高速道路SA・PA、水産物直売所、道の駅等	2,991	県内の水産物のご当地料理を紹介することができた。	庁内の新型コロナウイルス感染症対策を参考に、例年の夏休み前でなく、9月の連休に合わせて配布した。	県内の水産物直売所等を紹介する「新鮮！ちばの海の幸！水産物直売所マップ」を作成し、首都圏の駅やSA等で配布する。 ・作成部数:100,000部(NEXCO版45,000部、JR版55,000部)	3,517	都市住民の漁村への来訪を促進するため、漁業体験施設を掲載するとともに、スタンプラリー企画を導入する。	農林水産部 水産課
137	日本遺産魅力発信推進事業 (84番 再掲)	日本遺産に認定されたストーリーを地域全体として一体的に整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。平成28年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や人材育成などの事業を行う。	・国・県・市等によるイベントへの参加・出展を行った。 ・デジタルマップやホームページの更新により、最新の情報を発信した。 ・成田空港活用協議会と連携しモニターツアーを行った。 ・北総四都市ロゴマークを活用した情報発信を行った。	100	・構成4市内における文化財活用事業のより一層の展開が見られた。 ・日本遺産北総四都市江戸紀行への周知、理解が深まった。	新型コロナウイルス感染拡大のため、出展予定のイベントそのものが中止となり、PRの機会が減った。	・国・県・市等によるイベントへの参加・出展を行う。 ・デジタルマップやホームページの更新により、最新の情報を発信する。 ・成田空港活用協議会等との連携や、北総四都市ロゴマークの活用などによるPRを行う。 ・教育旅行誘致に係る活動を重点的に行う。	100		教育庁 文化財課

⑳ 文化プログラム関連イベントの実施により得られた資源の活用

No.	事業名	事業概要	令和2年度			令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する 評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	実施計画	当初予算額 (千円)		前年度からの変更 点(令和2年度実施 結果を受けての対 策等)
138	ネットワークの構築	文化プログラムの実施を通じて新たに結ばれる団体と施設とのネットワークを、その後の事業展開に活かす。	【ちば文化(芸術)振興懇談会】の開催 「第2次ちば文化振興計画」の進捗状況や文化プログラムの実施状況、条例に基づく文化芸術推進基本計画の策定等について意見をいただいた。 ・開催回数:1回(8月) ・委員:9名(学識経験者、芸術家・芸術団体、文化施設、観光等)	131	様々な分野の有識者から、文化芸術活動の現状や県の取組に関する意見を聴取し、事業実施を促進した。	令和3年3月にも開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等を踏まえ開催は見送った	【ちば文化(芸術)振興懇談会】の開催 (仮称)「ちば文化芸術推進基本計画」の策定状況等について意見を聴取する。	563	新型コロナウイルス感染症の影響により開催の時期・回数・形態を検討しながら実施する。	環境生活部 県民生活・文化課
139	ちば文化交流ボックス(3番 再掲)	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載したほか、新型コロナウイルス関連情報集約ページの作成を行った。 ・地域のイベント情報掲載数:3件 ・累計閲覧者数:649,000人	-	文化イベントや文化資源などの情報に加え、新型コロナウイルス関連情報など、ニーズにあった情報を提供した。		文化イベントや文化資源などに関する情報に加えて、新型コロナウイルス関連の情報を引き続き提供することで、ホームページの閲覧者数増加(700,000人)を目指す。	-		環境生活部 県民生活・文化課
140	文化プログラム関連イベント事業「ちば文化資産」PR事業(80番 再掲)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①「ちば文化資産」に関連するお祭りのフォトコンテストの実施(6月～10月) ②観光部局と連携したフォトキャンペーンの実施(6月～9月、1月～3月) ③SNSの開設・運営(通年)、旅行雑誌への広告掲載(6月、11月)	5,066	SNSやWEBを積極的に活用することで、ちば文化資産を若い世代を中心にPRできた。	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により当初想定していた来訪を促進するキャンペーンができず、魅力を周知するPR事業に留まった。	①観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施する ②SNSやHPにより周知を図る ③オリンピック・パラリンピック関連事業と連携し、イベント会場や商業施設でパネルやポスター等を掲示する	0	・オリンピック・パラリンピック関連事業との連携、特にちばアート祭と連携し、商業施設でのパネル展示等を行い周知を図る点	環境生活部 県民生活・文化課